

成蹊大学理工学部理工学科の
学生確保の見通し等を記載した書類

目 次

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
(1) 学生の確保の見通し	2
ア 定員充足の見込み	2
イ 定員充足の根拠となるデータの概要	2
ウ 納付金設定の考え方	8
(2) 学生確保に向けた具体的な取り組み状況	8
2. 人材需要の動向と社会の要請	12
(1) 人材養成に関する目的、その他教育研究上の目的（概要）	12
(2) 上記(1)が社会的・地域的人材需要の動向等を ふまえたものであることの客観的な根拠	14

1. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生の確保の見通し

ア 定員充足の見込み

理工学部理工学科の入学定員 420 名については、将来にわたり学生を確実に確保可能な規模と見込んでいる。

入学定員の設定は、養成する人材に係る社会的・地域的な需要を踏まえ、本学部の教育研究活動を推進する一方その実施方法に留意しつつ、私立大学として安定的な財務基盤を築くことを前提に行なった。

その規模の設定については、学生募集の最大の母集団となる 18 歳人口の推移を前提に、本学の立地する東京都における年齢別人口の動向、高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学等の状況、理工学部の大学進学等の状況、近隣の理工学系学部の入学志願状況ならびに定員充足の状況、さらには本学自身の学生募集力など、本学を取り巻く様々な状況とデータを比較分析して想定した。そのうえで、外部委託により高校 2 年生を対象とした進学需要調査を実施した。進学需要調査は東京都を中心とした地域（東京都に加えて、神奈川県、埼玉県、千葉県）の高等学校（全日制のみとし、中等教育学校を含む。以下、「高等学校」とする）に在籍している高校生を対象に行った。それらの結果等も総合的に勘案し、他大学との競争力を有しつつ、確実に確保可能と見込まれ、かつ入学者選抜の機能が低下しない範囲の入学定員として設定している。

なお、本学の一般入試の志願者の地域別の傾向として、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県の 1 都 3 県で 80% 程度を占めており、志願者全体の約 40% が東京都である＜資料 1＞ことから、以下に根拠を示すにあたっては、まずは東京都を含めた上記 1 都 3 県について検証を行うこととした。

イ 定員充足の根拠となるデータの概要

a 公的機関等による地域の人口動態

1) 全国と 1 都 3 県の人口動態及び 18 歳人口等の概要

令和元年 10 月 1 日現在の全国の 18 歳人口は、人口推計（総務庁統計局、令和 2 年 4 月 14 日公表）によれば約 118 万人である。

また、今後の 18 歳人口の推移は、学校基本調査を基にリクルート進学総研が作成した資料によれば、令和元年（2019 年）を 100 とし

た場合に令和 13 年（2031 年）までの推移としては、全国平均では 88.0%まで減少するが、1 都 3 県全体では 94.2%、埼玉県では 91.0%、千葉県では 90.4%、東京都では 98.6%、神奈川県では 93.8%までの減少にとどまり、このことから入学対象者の減少は全国に比較して緩やかであることが予測される<資料 2>。

2) 1 都 3 県の高等学校及び中学校の在籍者数

令和 2 年度の学校基本調査（文部科学省）によると、開設初年度の受験対象者となる東京都内の高等学校（全日制・定時制）に在籍している 2 年生の生徒数は 101,750 人、開設 2 年目に受験対象者となる東京都内の高等学校（全日制・定時制）に在籍している 1 年生の生徒数は 102,946 人となっている。また、開設 3 年目に受験対象者となる東京都内の中学校に在籍している 3 年生の生徒数は 98,096 人、開設 4 年目に受験対象者となる東京都の中学校に在籍している 2 年生の生徒数は 102,299 人、開設 5 年目に受験対象者となる東京都の中学校に在籍している 1 年生の生徒数は 104,010 人である。同様に、神奈川県、埼玉県及び千葉県も〔表 1〕のとおり推移している。

〔表 1〕開設初年度から完成年度までの 1 都 3 県における高等学校及び中学校の在籍者数

	高校2年生	高校1年生	中学3年生	中学2年生	中学1年生
	(開設1年目)	(開設2年目)	(開設3年目)	(開設4年目)	(開設5年目)
東京都	101,750	102,946	98,096	102,299	104,010
神奈川県	66,686	66,474	73,452	75,309	75,948
埼玉県	55,772	56,081	61,163	62,611	62,681
千葉県	48,328	48,584	51,293	52,765	52,815
合計	272,536	274,085	284,004	292,984	295,454

※高校は全日制・定時制における生徒数 ※令和2年度学校基本調査より一部抜粋して作成

また、同じく学校基本調査（文部科学省）によると東京都の中学校を卒業した者の高等学校等への進学率（令和元年度以前 5 年間の平均）でほぼ 98.7%、同様に、神奈川県では 99.0%、埼玉県では 99.0%、千葉県では 98.8%で推移しており、高等学校卒業生が大きく減少することはないと見込まれる。

3) 1 都 3 県の大学進学状況と在籍者数

また、学校基本調査によると、東京都の高等学校を卒業した者の

過去 3 年間の大学進学状況は、令和 2 年度 3 月は卒業生 100,178 人のうち大学進学者は 66,737 人で大学進学率は 66.6%、令和元年度 3 月は卒業生 101,723 人のうち大学進学者は 66,248 人で大学進学率は 65.1%、平成 30 年 3 月は卒業生 101,782 人のうち大学進学者は 65,863 人で大学進学率は 64.7%、平成 29 年 3 月は卒業生 102,326 人のうち大学進学者は 67,455 人で大学進学率は 65.9%、平成 28 年 3 月は卒業生 100,422 人のうち大学進学者は 66,778 人で大学進学率は 66.5%となっている。また、東京都内の高等学校を卒業した者の過去 10 年間の大学進学率は、平成 23 年 3 月の 65.5%から令和 2 年 3 月までは 66.6%とほぼ変わっていない。同様に、神奈川県、埼玉県及び千葉県も【表 2】のとおり、安定した大学進学率を維持している。

学生募集の最大の母集団となる 18 歳人口の推移を前提に、本学の志願者の 8 割を占める 1 都 3 県における年齢別人口の動向、高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況からみて、中長期的な入学定員の確保に影響を及ぼす人口動態には変化がないと見込まれる。

【表 2】1 都 3 県の高校卒業生数、進学者数、進学率

	東京都			神奈川県			埼玉県			千葉県		
	高校卒業生数	進学者数	進学率	高校卒業生数	進学者数	進学率	高校卒業生数	進学者数	進学率	高校卒業生数	進学者数	進学率
令和2年3月	100,178	66,737	66.6%	65,684	40,003	60.9%	56,643	33,130	58.5%	48,289	27,030	56.0%
令和元年3月	101,723	66,248	65.1%	66,605	40,427	60.7%	56,992	32,731	57.4%	48,998	26,975	55.1%
平成30年3月	101,782	65,863	64.7%	66,244	40,395	61.0%	56,970	32,572	57.2%	49,149	27,382	55.7%
平成29年3月	102,326	67,455	65.9%	66,400	40,703	61.3%	57,262	32,989	57.6%	49,330	27,466	55.7%
平成28年3月	100,422	66,778	66.5%	65,311	40,157	61.5%	57,150	32,513	56.9%	48,944	27,451	56.1%
平成23年3月	97,284	63,681	65.5%	60,440	36,729	60.8%	54,160	30,912	57.1%	45,990	25,200	54.8%

※学校基本調査より一部抜粋して作成

b 理工学・情報科学同系分野における入学志願者の動向

私立大学・短期大学等入学志願者動向（日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター）によると、【表 3】のとおり、理工学部を設置数は平成 23 年から令和 2 年度の 10 か年で 25 から 30 に増え、

それに伴い入学定員は 15,914 人から 18,581 人に、志願者は 206,691 人から 292,296 人に増加している。また、同系分野の情報科学部では学部設置数、入学定員にはおおむね変化はなく、志願者数は平成 23 年度から令和 2 年の 10 か年で 12,799 人から 27,781 人に増加している。これらの状況から、理工学・情報科学系の根強い人気傾向が、全国的にうかがえる結果である。

また、首都圏における同系統の志願動向については、株式会社進研アドから提供された資料によれば、明治大学、青山学院大学、中央大学、法政大学、芝浦工業大学、工学院大学の学部単位の志願動向は、直近 5 年間では多くの志願者を確保している＜資料 3＞。

このような結果から、理工学部に関連する学部・学科系統においては、全国的にも地域的にも、比較的受験生には人気の系統であることが確認できた。

【表 3】私立大学の理工学部（情報科学部）の設置数、入学定員、志願者の推移

私立大学の理工学部の設置数、入学定員、志願者の推移										
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
集計学部数	25	25	26	27	29	29	30	30	29	30
入学定員(人)	15,914	15,884	16,435	16,660	17,411	17,461	18,545	18,681	18,411	18,581
志願者(人)	206,691	212,180	230,769	247,188	251,299	251,243	258,262	265,199	275,555	292,296

※私立大学・短期大学等入学志願動向(日本私立学校振興・共済事業団)から一部抜粋して作成

私立大学の情報科学部の設置数、入学定員、志願者の推移										
	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
集計学部数	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4
入学定員(人)	1,180	1,180	1,186	1,186	1,166	1,166	1,046	1,046	1,046	1,046
志願者(人)	12,799	14,217	15,293	17,496	18,776	19,271	19,740	22,836	26,130	27,781

※私立大学・短期大学等入学志願動向(日本私立学校振興・共済事業団)から一部抜粋して作成

c 本学部類似する教育課程を編成する学部・学科の志願者動向

理工学部理工学科の特徴と類似する教育課程を編成する競合校として、明治大学総合数理学部・理工学部、青山学院大学社会情報学部・理工学部、中央大学理工学部、法政大学情報科学部・理工学部・生命科学部、芝浦工業大学システム理工学部・工学部、工学院大学情報学

部・工学部・先進工学部を挙げることができる。この志願動向を確認したところ、令和 2（2020）年度の一般入試の実質競争倍率が 2.3 倍から 9.2 倍程度と高い水準にあることが確認できた＜資料 3＞。

d 成蹊大学理工学部 of 過去 5 年間の志願者動向

既設学部である成蹊大学理工学部の一般入試には一般選抜入試（A 方式）、全学部統一入試（E 方式）、大学入試センター試験利用 3 教科型入試（C 方式）、大学入試センター試験利用 4 教科 6 科目型奨学金付入試（S 方式）があり、平成 28（2016）年度から令和 2（2020）年度の 5 か年間ににおける志願状況の実質倍率は 2.9－4.3 倍で推移しており、安定して志願者を集めている＜資料 4＞。

e 受験対象者への進学需要調査

理工学部理工学科の開設にあたっては、前述のように東京都内の年齢別人口の動向、高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況、本学及び他大学の志願状況などを踏まえたうえで計画していることから、十分な学生確保が見込まれる。

これに加えて、学生確保の見込みについて定量的なデータから検証することを目的として、[表 4] のとおり、進学意向に関する調査を実施した＜資料 5＞。

[表 4] 高校生対象調査の概要

高校生対象調査		
調査対象		開設初年次の受験生（調査時高校 2 年生）
調査エリア		埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
調査方法		高校留め置き調査
調査対象数	依頼数（依頼校数）	14,895 人(105 校)
	有効回収数	10,351 人(94 校)
	（回収校数）	有効回収率（69.5%）
調査時期		令和 2 年(2020 年)11 月 11 日(水) ～令和 2 年(2020 年)12 月 15 日(火)

調査実施機関	株式会社 進研アド
--------	-----------

その結果、有効回答者数 10,351 人（東京都が 7,225 人、神奈川県が 1,719 人、千葉県が 137 人、埼玉県が 1,270 人）のうち、当該調査票にて回答者に明示した理工学部理工学科の特色①～⑤〔表 5〕に対して「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の割合(魅力度)はすべての項目において 6 割を超えている。

〔表 5〕 高校生対象調査：調査項目(理工学部理工学科の特色①～⑤)

	特色	魅力度※
特色①	1 学科の中に 5 つの専攻（データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化学）を設置。所属専攻以外の科目も履修でき、融合分野も学べます。	72.5%
特色②	意識の高い学生に向けて、時代のニーズを捉えた専攻融合型の「特別プログラム」を設置。「生命科学プログラム」「経営科学プログラム」「教育手法プログラム」を構想しています。	69.4%
特色③	「連携プロジェクト」科目では、専攻間の垣根を越えて学生同士が協働し、企業や地域における課題をチームで解決するための実践力を磨きます。	75.0%
特色④	すべての専攻で確かな ICT 活用力を身につけます。各専攻の専門知識と ICT を高度に駆使して、実社会における課題を解決できる力を養います。	75.2%
特色⑤	数学・物理・化学・生物といった理工学の基礎力だけでなく、読解力、文章作成力、プレゼンテーションスキル、コミュニケーション力といった社会人基礎力も鍛えます。	79.2%

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の割合

さらには、理工学部理工学科を「受験したいと思う」と答えた 1,996 人のうち、1,881 人（回答者のうち約 18.2%）が理工学部理工学科を受験して合格したら、第 1 希望で入学したいとの回答をした。これは、学科で予定している入学定員 420 人の 4 倍以上が理工学部理工学科への入学意向を示し、予定されている入学定員数を上回る入学意向者が

いることを意味する<資料5 p15-16>。

さらに、前述（「a 公的機関等による地域の人口動態」）したように、学生募集の最大の母集団となる 18 歳人口の推移を前提に、本学の志願者の 8 割を占める 1 都 3 県における年齢別人口の動向、高等学校及び中学校の在籍者数、高等学校を卒業した者の大学進学状況からみて、中長期的な入学定員の確保に影響を及ぼす人口動態には変化がないと見込まれることから、中長期的にも学生確保の見通しがあると言える。

ウ 納付金設定の考え方

学生納付金については、大学の経営に係る財務的な視点と学生納付金の学生への還元など受益者に対する説明責任の観点を重視しつつ、大学の将来の発展を目的とする施設・設備の充実を考慮するとともに、近隣他大学の類似学部学科における学生納付金の設定状況を勘案したうえで、完成年度に収支の均衡が図れることを前提に財務予測による実質的な採算分岐点にもとづき設定している。

具体的には、本学部学科の完成年度における教育活動等支出のうち、人件費（1,654,322 千円）、教育研究経費（728,519 千円）、管理経費（148,942 千円）、設備関係費（36,463 千円）、施設関係費（115,649 千円）の合計は 2,683,895 千円となる。これを収容定員（1,680（入学定員 420 人×4 学年））で除して学生 1 人あたりの額にすると、約 1,598 千円となる。一方で<資料6>のとおり、類似学部学科の学生納付金（入学金を除く総額）の平均値は約 1,543 千円（ただし、令和 2 年度実績により計算）となっている。

以上のように、具体的な学生納付金の設定にあたっては収支均衡、対外的な競争力、一般的な平均水準等について総合的に勘案した結果として、学生 1 人あたり年間 1,525 千円として設定した。内訳は、授業料 1,060 千円、施設費 325 千円、設備費 140 千円としている。なお、学生 1 人あたりの経費 1,598 千円から納付金設定額 1,525 千円との差となる 73 千円については、補助金、寄附金、手数料等の収入で充当する。

(2) 学生確保に向けた具体的な取り組み状況

理工学部理工学科の学生を確保するためには、本学部学科が養成する人

材像、教育内容・特色等について、高校生や保護者、高等学校教員等を中心としたステークホルダーに十分理解してもらうことが必要であり、そのための広報活動を積極的に展開する必要がある。本学では、以下のような具体的な取り組みを通じて社会に対する情報発信を積極的に、かつ継続的に行い、本学部学科学生の安定的な確保に努める。

a 新学科リーフレットの制作・配布

学部学科名、入学定員、教育内容・方法の特色、教育課程の概要、考えられる卒業後の進路、納付金やキャンパスへのアクセス方法と大学キャンパス内の写真等を記載したリーフレットを作成し、高校生、保護者、高等学校、予備校、企業人事採用担当者に配布をする。高等学校、予備校に対しては、総合的なガイドブックである大学案内『2022 成蹊大学』が完成した時期に約 4,000 部を発送する。企業人事担当者に対しては、本学からの求人票に同封して本学部学科設置について周知を図る。

b ホームページ活用による広報活動

令和 2 年 11 月に本学ウェブサイトからリンクを貼る形でランディングページを開設した。令和 3 年 3 月には特設サイトを公開し、学長及び新学部長就任予定者等によるメッセージ及び新学科のコンセプト・学びの内容等を掲載する。また、新学科設置の準備状況については随時更新し、高校生等への情報発信を行っていく。さらに、令和 4 年度には本学ウェブサイト内に既存学部と同様に本学部学科ページを開設する。

c オープンキャンパスの開催

例年 8 月初旬（3 日間）と 11 月の大学祭（1 日間）に、本学に興味・関心を持つ生徒を対象にオープンキャンパスを開催している。オープンキャンパスにおいては、職員による大学紹介、教員による学部・学科説明会（8 月のみ）、学生によるキャンパス見学ツアー、本学教員による模擬授業（8 月のみ）を実施するほか、本学教職員や学生との相談コーナーを設けるなど、生徒に本学の雰囲気を知ってもらうとともに、受験に向けて入試や学部に関する詳しい情報を知る機会を様々な角度から提供している。令和 2 年度においては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、すべてオンライン化に切り替え WEB オープンキャンパスを実施した。令和 3 年度がオンラインによる実施となった場合でも新学部について学部説明会や個別相談会を通じて周知をはかるほか、特別に機会を設け、理

念、教育内容、特色等について説明し新学科に対する理解を深めてもらう。

d 進学相談会への参加

各都市のホテルやホールを会場にし、多くの大学が集まり合同で開催される進学相談会に参加する。参加実績は、令和元年度は 79 件、コロナ禍にあった令和 2 年度は 21 件の進学相談会に参加している。令和 3 年度においては、オンラインでの実施も含めて北海道から沖縄まで、全国の約 60 件の進学相談会に参加予定である。進学相談会では本学の特色、教育内容を紹介し、また高校生の疑問、質問に丁寧に対応することで、本学部学科への興味・関心を深めてもらう。

e 高校内での大学説明会・進学相談会への参加

多くの高校では、進路指導の一貫として、大学から説明担当者を招き、学問分野や大学での学びについて説明を受けるほか、模擬授業を受ける機会を設けている。令和元年度において本学は合計 174 件の高校で学内大学説明会・進学相談会に参加している。コロナ禍にあった令和 2 年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で実施数は大きく減ったが、75 校で実施している（オンライン開催を含む）。令和 3 年度においては、高校からの要請があれば積極的に応じ、高校との連携のうえ新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ、120 校で開催することを予定している。

f 模擬講義の実施

高校内での対面式またはオンラインによる模擬講義を通じて、新しい学部学科で学ぶ内容を高校生に体験してもらう機会を増やし本学で学ぶことへの期待や関心を高めてもらう。過去 2 年間の実績として令和元年度は 26 高校で、コロナ禍にあった令和 2 年度は 13 高校で実施している（オンライン開催を含む）。令和 3 年度においては、高校からの要請があれば積極的に応じ、高校との連携のうえ新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めつつ、20 件の高校で開催することを予定している。

g 進学情報誌への掲載

各種進学情報誌に新しい学部学科の情報を掲載するとともに、特色やイベント実施日程等についても提供する。

h 新聞広告への掲載

令和 3 年度中に、全国紙及び地方紙等の各紙に本学部学科に関する新聞広告を随時掲載する予定である。

i 高校訪問

例年、本学入学実績のある高等学校及び受験者数の多い高等学校を中心に、約 80 校への高校訪問を実施しており、本学既存学科に関する説明及び高校教員との情報交換を行っている。令和 3 年度においては訪問校を増やし、新学科に関する説明もあわせて行い、進路指導教員をはじめとした関係者に新学科に対する理解を深めてもらう。

2. 人材需要の動向と社会の要請

(1) 人材養成に関する目的、その他教育研究上の目的（概要）

a 成蹊大学の教育目標（人材育成方針）

本学では、大学全体として次のような教育目標（人材育成方針）を掲げている。

- (i) 広い教養と深い（各学科、各専攻の）専門知識を備え、物事の本質を探究する思考力を養成する。
- (ii) 自己の人生観・価値観を確立し、自分の考えや意見を的確かつ明瞭に表現、発信する力を養成する。
- (iii) 多様な文化、環境、状況に対応し、他者と協働して課題の解決に取り組む力を養成する。
- (iv) 未知のものに積極的に挑み、生涯学び続けようとする自発性と積極性を養成する。

b 理工学部理工学科における人材養成の考え方

現代社会は言うまでもなく科学技術の急速な進展の上に成り立っており、特に近年は、コンピュータの処理能力の向上や情報技術の進展に伴って、社会や産業構造の変化のスピードが加速度的となっている。このような社会の変化の流れの中での理工系高等教育においては、旧来の細かな専門性の枠組みの中での深い知識と経験、能力を持つ人材の育成と同時に、理工系の確かな基礎力と広い視野を持つ人材の育成が重要である。同時に、将来に渡る科学技術の進化や社会の変化を見据えながら、社会を持続発展させていくために、幅広い教養と協調性を持った人材が求められている。本学科では、1学科の強みを活かし、理工系のすべての分野に渡って必要である情報技術に関連するプログラミングや数理系基礎力などを中心とした基礎知識を持ち、それを礎として汎用力と応用力を発揮することができる人材を育成する。学科の中での基礎教育の上に構成される専門教育は、データ数理専攻、コンピュータ科学専攻、機械システム専攻、電気電子専攻、応用化学専攻の5専攻制を基本とし、それぞれの専攻分野において提供する専門教育プログラムに基づき、専門性の高い科学技術関連分野の中核を担う人材を育成する。さらに、これらの基礎力と専門知識に基づき、科学技術の進歩や社会の変化に対応し、最新の科学技術を学び続けていくことができる人材を育成する。

また、経済、産業構造の変化が激しく、地域的および大域的なさまざ

まな構造が複雑に絡み合って成り立っている複雑な現代社会においては、社会を生きる一人一人が、生活や与えられた役割の中で直面する諸課題を発見し、見極めた上で解決に取り組む姿勢が必要とされる。このような複雑な社会の中での課題の発見と解決を的確に行うために、理工系としての確かな基礎力に基づいた専門的視野とともに、専門を超えた幅広い知識を持った人材を育成する。持続可能な開発目標（SDGs）の課題と取り組みについて多角的に理解し、直面する課題について、身近な視点とともに地球規模のグローバルな視点を持った上で解決に取り組むことができる人材を育成する。

以上のような多種多様な課題の発見・解決に取り組むためには、実際には、異分野や異文化を基盤に持つ他者との協働が非常に重要であり、そのためには、さまざまな意味での多様性を理解し、他者を尊重する姿勢を持つことが前提となる。さらには、自らの意見や考えを明確に自覚した上でそれを表現する力を身につけることも前提となる。本学科では、専門教育や融合分野の教育での学び合いなどを通して、他者への尊重と自らの意見を表現できる人材を養成する。その上で、プロジェクト型授業などにおける他者との協働での学び合いを通して、意見の異なる他者との協働作業を体験することにより、多様な人々と協働して課題の発見・解決のプロセスに取り組める人材を養成する。

c 理工学部理工学科の人材養成像

上記「a 成蹊大学の教育目標（人材育成方針）」及び「b 理工学部理工学科の人材養成の考え方」を踏まえて、理工学部理工学科では、次のような人材養成像を掲げる。

【理工学部】

情報技術を中心とした基礎教育、各専攻分野に立脚した専門教育、専門の垣根を越えた融合教育、の3つの教育の柱により、急速な技術革新、自然との共生、持続発展型社会の実現等の現代社会が抱える複雑な課題に果敢に取り組める人材を養成する。

【理工学科】

(i) 科学技術の進歩と社会の持続的発展のために生涯学び続けることができる人材を養成する。

- (ii) 現代社会における専門性の高い科学技術関連分野の中核を担う人材を養成する。
- (iii) 複雑な現実社会における課題の発見・解決に取り組める人材を養成する。
- (iv) 多様な人々と協働して課題の発見・解決に取り組める人材を養成する。

d 理工学部理工学科の教育研究上の目的

上記「a 成蹊大学の教育目標（人材育成方針）」、「b 理工学部理工学科の人材養成の考え方」及び「c 理工学部理工学科の人材養成像」を踏まえて、理工学部理工学科では、次のような教育研究上の目的を掲げる。

【理工学部】

上記「c 理工学部理工学科の人材養成像」に掲げるような人材を育成するために適切な教育・研究を行う。

【理工学科】

- (i) 生涯学び続けるための基礎の確立のために、先端 ICT（プログラミング等）と科学の基礎となる基礎学力（数学、物理、化学、生物等）を涵養する。
- (ii) 科学技術関連分野の中核を担う人材を養成するために、各専攻分野（データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化学）に係る知識・技能の徹底的な修得を図る。
- (iii) 専攻の垣根を越えた学融合的な教育・研究により、広い視野に立った課題発見・解決能力を涵養する。
- (iv) 学融合的な教育・研究およびプロジェクト型学習により、多様な人々と協働して課題発見・解決に取り組むことができるような実践力とコミュニケーション力を涵養する。

(2) 上記(1)が社会的・地域的人材需要の動向等をふまえたものであることの客観的な根拠

a 社会における人材需要の需要見通し

「Society5.0に向けた人材育成」（平成30年6月5日文部科学省）において、Society5.0に向けて、AIやデータの力を最大限活用しながら

新たな社会を牽引する人材の育成の必要が謳われた。そこでは、「共通して求められる力」として「文章や情報を正確に読み解きた対話する力」「科学的に思考・吟味し活用する力」「価値を見つけ生み出す感性と力、好奇心・探究力」が示されており、いずれも大学の教育目標(人材育成方針)と合致するものであり、また「科学的に思考・吟味し活用する力」については本学部学科の人材養成目的の人材育成方針と特に親和性がある。更に「Society5.0 に向けた人材育成」において、「新たな社会を牽引する人材」として「技術革新や価値創造の源となる飛躍知を発見・創造する人材」「技術革新と社会課題をつなげ、プラットフォームを創造する人材」「様々な分野においてA Iやデータの力を最大限活用し展開できる人材」が標榜されており、本学部学科の人材育成に関する目的の必要性とその需要が確認でき、本学部本学科の人材養成像の(i)(ii)が社会的ニーズであるといえる。

また、個別企業の見解ではあるが三菱UFJ銀行は理系出身者採用強化を目的とした特設サイト「理系×MUFG

<https://www.saiyo.bk.mufg.jp/special/sciences/> (令和2年12月4日閲覧)」を開設し、そこでは「理系出身者が大学や大学院での学びによって身に付けた、”物事を探究する姿勢”や“仮説を組み立てる力”、“検証を繰り返して結論を導く経験”はどのような業界においても仕事を進めていく上での原動力」と説明しており、本学部学科の人材養成像(iii)(iv)が社会的ニーズであることの証左であるといえる。

また、一般社団法人日本経済団体連合会が企業を調査対象として実施した「高等教育に関するアンケート」(平成30年4月17日)では、産業界が学生に期待する資質、能力、知識を調査し、文系理系学生ともに、1位主体性・2位実行力・3位課題設定・課題解決という結果となった。この調査では「理工系では『創造力』も高い順位となった。IoTやビッグデータ、人工知能などをはじめとする技術革新が急速に発展する中、指示待ちではなく、自らの問題意識に基づき課題を設定し、主体的に解を作り出す能力が求められていることが示された」と結論づけており、本学部学科の人材養成目的と合致している。

更にこの調査で示されている、理系学生においては、「専攻分野での基礎的知識」「専門知識」がともに文系学生と比べて相対的に高い順位になっていることが明らかになっており、本学部学科の教育研究上の目的に明記された「先端ICT(プログラミング)と科学の基礎となる基礎学力(数

学、物理、化学、生物等)」と「データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化学に係る知識・技能」が期待されているものであるとも言える。

b 地域における人材需要の需要見通し

「東京の産業と雇用就業 2020」（令和 2 年 10 月 東京都産業労働局）によると、「東京の有効求人倍率は、2.10 倍」とあり、全国値である 1.60 倍より高い＜資料 7 p47＞。また、東京の中でも、特に 20 歳から 24 歳は、東京都全体を上回る値となっており、その差は年々大きくなっており、東京の若者層の人材需要が高いことを示している＜資料 7 p49＞。

c 理工学分野の卒業後の進路

今日の企業・社会が直面する、急速な技術革新、自然との共生、持続発展型社会の実現などの現代社会が抱える複雑な課題に果敢に取り組める人材は幅広い進路での活躍が期待される。具体的には、民間企業などにおいて開発・製造・管理などの部門で中核を担う人材として、大学院進学を経て民間企業または公的機関における研究・開発部門の中核を担う研究者として、中学校または高等学校の理科・数学・情報・工業の教科に関する教員として、活躍が期待できる。

d 本学卒業生の就職状況

1) 最近 5 年間の求人件数の状況

本学における最近 5 年間の求人件数の実績は、[表 6]のとおりである。

〔表 6〕 本学における最近 5 年間の求人件数の実績

	就職希望者数(人)	求人者数(社)	求人倍率※
令和元年度	1,511	3,142	2.07
平成 30 年度	1,535	3,840	2.50
平成 29 年度	1,454	3,824	2.62
平成 28 年度	1,613	3,921	2.43
平成 27 年度	1,565	4,414	2.82

※ 1 社あたりの求人件数を 1 件と仮定した場合の求人倍率

このように、数年間、多数の求人件数を得ていることは、本学における人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえたものであることを示しているものである。既設学科を発展的に改組する理工学部理工学科においても、企業からの人材需要を継続的に見込めるものとする。

2) 最近 5 年間の就職者数の状況

本学の卒業生就職状況を見てみると、いずれの学部においても過去 3 年間の就職率は〔表 7〕のとおり 85.7%～97.2%程度あり、近年の本学卒業生の就職状況は安定している。それは体系化された「キャリア教育」と 1 年次から始まる「キャリア・就職支援プログラム」さらには、一人ひとりと向き合う「個別相談」で確かなキャリア形成をバックアップしていることが要因である。さらには、企業や地域・行政と連携し、実社会と接する機会を多く用意するなど、きめ細かく徹底したキャリア支援を行っている。具体的には、本学職員が採用企業に、35-94 社(平成 29-令和元年度実績、毎年同程度実施、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で令和 2 年度は訪問自粛予定)訪問し情報交換を行っている。また、3 年生の 11 月から 2 月に実施している業界研究セミナーでは 198 社(令和元年度実績)、3 月の学内企業セミナーにおいては例年 100 社程度を招へいし(令和元年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止)学生との接点をつくっている。開学以来の長い歴史の中で優良企業との相互信頼が培われ、「就職に強い成蹊」と高い評価が寄せられている。

〔表 7〕 本学における最近 3 年間の就職率

学部	学科	2017年度	2018年度	2019年度
経済	経済経営学	92.5%	88.8%	90.6%
法	法律学	87.3%	93.0%	89.8%
	政治	89.7%	91.1%	86.7%
文	英米文	88.4%	93.6%	87.9%
	日本文	87.1%	88.6%	86.9%
	国際文化	92.3%	90.2%	85.7%
	現代社会	92.6%	91.9%	89.4%
理工	物質生命理工	97.1%	95.5%	89.0%
	情報科	95.8%	93.0%	96.1%
	システムデザイン	95.6%	97.2%	92.9%

(出所)成蹊大学ホームページ TOP > キャリア支援センター > 就職状況 >
https://www.seikei.ac.jp/university/job/data/download/syusyokuritu_2016-2019.pdf
 (2021年3月1日閲覧)

c 企業、関係団体等への人材需要に関する採用意向調査

理工学部理工学科の設置は、前述のとおり社会的、地域的な人材需要の動向等及び本学の求人状況や就職状況などを踏まえたうえで計画していることから、十分な卒業後の進路が見込めるものであるが、本学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的が、人材需要の動向等社会の要請を踏まえているかどうか、卒業後の具体的な進路や地域の人材需要の見通しがあるかを定量的なデータから検証することを目的として、〔表 8〕のとおり、学科の卒業生の就職先として想定される一都三県を中心とした全国の企業等を対象として本学卒業生の採用意向などの人材需要に関する調査を実施した<資料 8>。

〔表 8〕 企業対象調査の概要

企業対象調査	
調査対象	企業の採用担当者
調査エリア	一都三県を中心とする全国

調査方法		郵送調査
調査 対象数	依頼数	2,035 社
	回収数 (回収率)	496 社 (24.4%)
調査時期		令和 2 年(2020 年)11 月 11 日 (水) ～令和 2 年(2020 年)12 月 15 日 (火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

その結果、有効回答者数 496 社のうち 99.4%にあたる 493 社が成蹊大学理工学部理工学科に社会的必要性があると受け止めている。また、成蹊大学理工学部理工学科を卒業した者に対する採用意向については、有効回答者数 496 社のうち 97.2%にあたる 482 社が採用の意向を示している。さらに、「採用したいと思う」と 482 社へ成蹊大学理工学部理工学科の卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか問うたところ、採用想定人数の合計は 2,988 名で、学科で予定している入学定員数 420 名を 7 倍以上上回る。このように限られたサンプル調査においても、成蹊大学理工学部理工学科で学んだ人材への需要は高いことがうかがえる<資料 8 p 56>。

前述のとおり、本学の理工学部理工学科は、社会的、地域的な人材需要の動向を踏まえたものであるとともに、これまでの就職実績や想定される就職先による調査結果からも増加する定員分の就職先の確保は十分見込まれるものといえる。

理工学部理工学科 学生の確保の見通し等を記載した書類 資料目次

資料 1	成蹊大学 一般入試 志願者数の推移（2011 年度から 2020 年度）	2
資料 2	18 歳人口予測（全体：南関東：2019～2031 年）	3
資料 3	想定競合大（学部・学科）の志願状況・入学定員充足状況	4
資料 4	成蹊大学の一般入試結果（2016 年度から 2020 年度）	9
資料 5	成蹊大学「理工学部 理工学科」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書 【高校生対象調査】令和 3 年 2 月 株式会社進研アド	10
資料 6	学生納付金の比較／成蹊大学（2022 年度予定）と想定競合大学等	44
資料 7	東京の産業と雇用就業 2020【抜粋】	45
資料 8	成蹊大学「理工学部 理工学科」（仮称）設置に関するニーズ調査結果報告書 【企業対象調査】令和 3 年 2 月 株式会社進研アド	51

成蹊大学 一般入試 志願者数の推移（2011年度から2020年度）

1. 志願者数「関東三県(神奈川県・埼玉県・千葉県)」「東京都」「他地域」の人数(年度別) (単位：人)

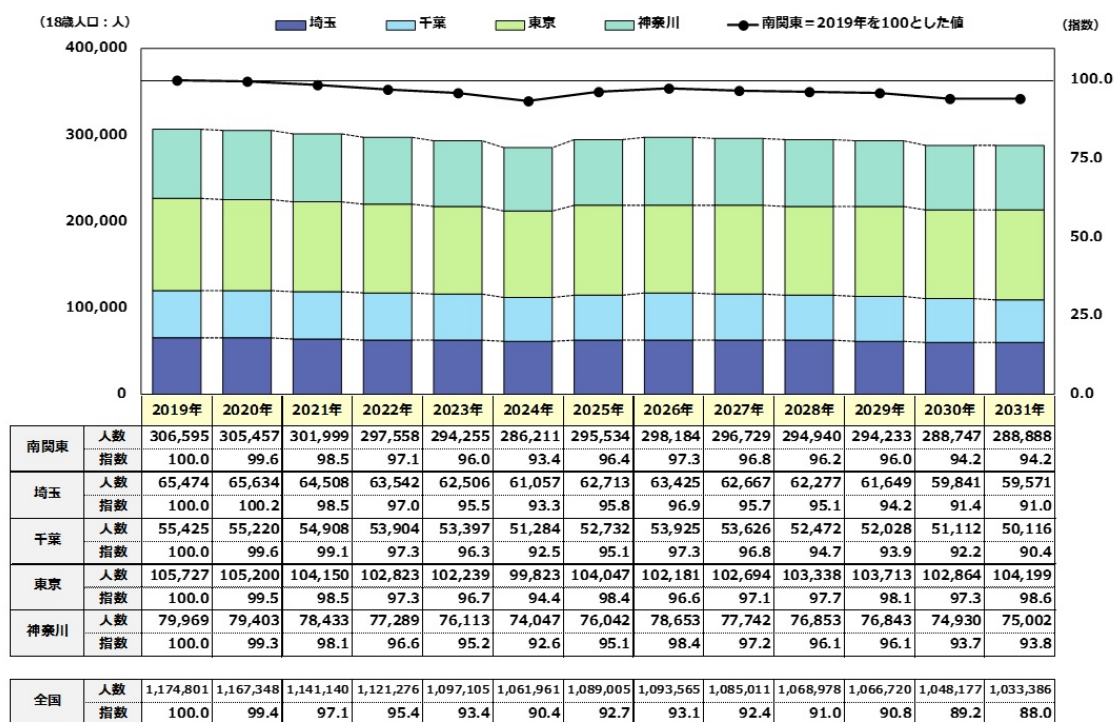
年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
関東三県	11,368	10,441	9,653	9,884	9,021	9,050	10,006	9,090	9371	7744
東京	9,554	9,150	8,545	9,043	8,314	8,158	9,620	8,771	10373	9487
他地域計	4,329	3,910	3,628	4,097	3,643	3,412	3,855	3,301	5290	4605
合計	25,251	23,501	21,826	23,024	20,978	20,620	23,481	21,162	25,034	21,836

2. 志願者数「関東三県(神奈川県・埼玉県・千葉県)」「東京都」「他地域」の割合(年度別) (単位：%)

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
関東三県	45.0%	44.4%	44.2%	42.9%	43.0%	43.9%	42.6%	43.0%	37.4%	35.5%
東京	37.8%	38.9%	39.2%	39.3%	39.6%	39.6%	41.0%	41.4%	41.4%	43.4%
他地域計	17.1%	16.6%	16.6%	17.8%	17.4%	16.5%	16.4%	15.6%	21.1%	21.1%

※小数点第2位以下は四捨五入

18歳人口予測（全体：南関東：2019～2031年）



学校基本調査を基にリクルート進学総研にて作成

※南関東とは「埼玉」「千葉」「東京」「神奈川」の一都三県を示す。

出所：リクルート進学総研

<http://souken.shingakunet.com/research/2020/01/182019-0000.html>（閲覧日 2020 年 11 月 4 日）

【理工学科】想定競合大(学部・学科)の 志願状況・入学定員充足状況

【理工学科】 想定競合大(学部・学科)の志願状況 ①

資料3 Confidential

1

大学名	学部名	学科名/専攻等	一般入試 志願者数					一般入試 受験者数					一般入試 合格者数					一般入試 実質倍率				
			2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
明治大	総合数理	現象数理	1,149	1,233	1,195	1,339	1,161	1,030	1,122	1,096	1,190	1,056	207	219	208	207	212	5.0	5.1	5.3	5.7	5.0
	総合数理	ネットワークデザイン	790	1,066	869	1,236	973	706	978	786	1,115	878	193	160	171	155	169	3.7	6.1	4.6	7.2	5.2
	理工	数	1,066	1,002	1,188	1,044	966	1,039	978	1,147	1,003	927	373	420	318	334	317	2.8	2.3	3.6	3.0	2.9
	理工	情報科	2,809	3,319	3,502	3,211	3,207	2,718	3,225	3,380	3,071	3,067	689	673	509	570	596	3.9	4.8	6.6	5.4	5.1
	理工	機械工	3,999	3,938	3,881	3,098	3,087	3,861	3,812	3,739	2,963	2,984	983	1,024	798	844	847	3.9	3.7	4.7	3.5	3.5
	理工	機械情報工	1,823	1,963	1,758	1,918	1,618	1,776	1,910	1,711	1,847	1,561	585	583	447	551	471	3.0	3.3	3.8	3.4	3.3
	理工	電気電子生命/電気電子工学	1,997	2,383	2,725	2,016	2,732	1,936	2,315	2,645	1,957	2,645	671	753	689	703	794	2.9	3.1	3.8	2.8	3.3
	理工	応用化	2,895	2,768	2,530	2,319	2,393	2,796	2,679	2,450	2,219	2,297	941	778	723	690	650	3.0	3.4	3.4	3.2	3.5
青山学院大	社会情報	社会情報	3,174	3,402	2,906	2,363	2,774	2,998	3,226	2,712	2,204	2,560	473	345	257	269	279	6.3	9.4	10.6	8.2	9.2
	理工	物理・数理	2,096	1,839	1,943	1,931	1,995	2,007	1,748	1,852	1,839	1,894	602	548	487	510	477	3.3	3.2	3.8	3.6	4.0
	理工	情報テクノロジー	1,904	1,799	1,800	1,826	1,679	1,829	1,709	1,713	1,742	1,590	304	281	204	244	279	6.0	6.1	8.4	7.1	5.7
	理工	機械創造工	1,913	1,857	1,672	1,591	1,787	1,837	1,778	1,594	1,529	1,710	438	407	383	343	335	4.2	4.4	4.2	4.5	5.1
	理工	電気電子工	1,362	1,820	1,216	1,368	1,564	1,302	1,734	1,151	1,302	1,507	355	301	315	296	298	3.7	5.8	3.7	4.4	5.1
	理工	化学・生命科	1,901	1,923	1,507	1,479	1,753	1,823	1,817	1,412	1,385	1,632	423	377	353	375	381	4.3	4.8	4.0	3.7	4.3
	理工	数	933	738	867	753	788	868	685	803	693	726	203	229	192	197	216	4.3	3.0	4.2	3.5	3.4
中央大	理工	情報工	2,005	2,393	2,973	2,904	3,031	1,854	2,193	2,744	2,680	2,787	331	349	350	345	307	5.6	6.3	7.8	7.8	9.1
	理工	精密機械工	2,697	2,448	2,564	2,556	2,118	2,524	2,263	2,368	2,332	1,953	504	530	479	430	405	5.0	4.3	4.9	5.4	4.8
	理工	電気電子情報通信工	2,159	2,217	2,735	2,552	2,404	1,987	2,041	2,539	2,353	2,211	441	479	436	389	408	4.5	4.3	5.8	6.0	5.4
	理工	応用化	2,531	2,159	2,498	2,425	2,340	2,331	1,979	2,316	2,210	2,144	523	659	517	565	556	4.5	3.0	4.5	3.9	3.9
	情報科	コンピュータ科	1,348	1,681	1,804	1,920	1,974	1,267	1,569	1,699	1,822	1,856	313	312	247	285	360	4.0	5.0	6.9	6.4	5.2
法政大	理工	応用情報工	2,077	2,196	2,634	2,870	2,276	1,998	2,117	2,560	2,783	2,185	609	542	503	545	484	3.3	3.9	5.1	5.1	4.5
	理工	機械工	3,149	3,070	2,653	3,536	2,976	3,061	2,960	2,565	3,433	2,869	707	695	660	693	681	4.3	4.3	3.9	5.0	4.2
	理工	機械工/機械工学	3,073	2,982	2,550	3,411	2,863	2,987	2,874	2,463	3,308	2,757	678	668	639	664	658	4.4	4.3	3.9	5.0	4.2
	理工	電気電子工	2,587	2,924	3,231	2,669	3,091	2,449	2,751	3,063	2,501	2,917	637	696	633	615	701	3.8	4.0	4.8	4.1	4.2
	生命科	環境応用化	1,551	2,046	1,495	2,134	1,522	1,479	1,948	1,426	2,026	1,422	429	497	451	447	421	3.4	3.9	3.2	4.5	3.4

各入試年度 ベネッセコーポレーション調べ

大学名	学部名	学科名/専攻等	一般入試 志願者数					一般入試 受験者数					一般入試 合格者数					一般入試 実質倍率				
			2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
芝浦工業大	システム理工	数理科	1,087	955	1,110	1,570	1,391	1,065	933	1,075	1,524	1,344	404	422	433	501	589	2.6	2.2	2.5	3.0	2.3
	システム理工	機械制御システム	1,095	1,217	1,413	1,789	1,819	1,068	1,187	1,374	1,736	1,756	326	471	457	646	571	3.3	2.5	3.0	2.7	3.1
	システム理工	電子情報システム	1,925	2,256	2,294	2,867	2,413	1,848	2,177	2,211	2,771	2,316	515	607	559	699	652	3.6	3.6	4.0	4.0	3.6
	工	情報工	2,982	3,487	3,611	4,270	3,859	2,882	3,357	3,490	4,109	3,723	564	741	635	792	703	5.1	4.5	5.5	5.2	5.3
	工	機械工	3,670	3,745	3,867	4,578	3,529	3,556	3,640	3,748	4,406	3,419	694	855	963	1,007	956	5.1	4.3	3.9	4.4	3.6
	工	機械機能工	2,144	2,229	2,168	2,290	1,875	2,095	2,170	2,109	2,207	1,813	668	767	650	640	606	3.1	2.8	3.2	3.4	3.0
	工	通信工	1,198	1,129				1,165	1,103				356	479				3.3	2.3			
	工	情報通信工			2,397	2,694	2,849			2,317	2,588	2,747			529	696	655			4.4	3.7	4.2
	工	電気工	1,602	1,890	2,140	2,221	2,175	1,555	1,834	2,074	2,139	2,098	517	613	622	733	747	3.0	3.0	3.3	2.9	2.8
	工	電子工	1,548	1,577	1,975	2,116	2,074	1,511	1,535	1,916	2,044	1,990	541	635	569	615	744	2.8	2.4	3.4	3.3	2.7
	工	応用化	2,186	2,304	2,477	2,559	2,622	2,130	2,253	2,411	2,469	2,534	709	923	844	942	941	3.0	2.4	2.9	2.6	2.7
工学院大	情報	コンピュータ科	1,416	1,533	1,511	1,623	1,610	1,352	1,466	1,439	1,552	1,548	207	190	181	-	243	6.5	7.7	8.0	-	6.4
	情報	情報デザイン	836	1,074	962	1,138	1,120	799	1,038	919	1,076	1,070	139	158	130	-	140	5.7	6.6	7.1	-	7.6
	情報	システム数理	367	468	473	734	850	350	450	458	689	805	94	89	89	-	122	3.7	5.1	5.1	-	6.6
	情報	情報通信工	1,228	1,356	1,292	1,596	1,727	1,170	1,297	1,224	1,535	1,650	204	157	162	-	229	5.7	8.3	7.6	-	7.2
	工	機械システム工	1,191	1,212	1,034	1,291	1,568	1,141	1,164	993	1,244	1,519	209	189	207	-	303	5.5	6.2	4.8	-	5.0
	工	機械工	2,262	2,026	1,831	2,430	2,094	2,179	1,956	1,769	2,346	2,018	357	389	422	-	405	6.1	5.0	4.2	-	5.0
	工	電気システム工	1,002					958					228					4.2				
	工	電気電子工		1,332	1,053	1,366	1,637		1,280	1,004	1,310	1,583		225	236	-	330		5.7	4.3	-	4.8
	先進工	機械理工	453	554	620	698	769	434	529	603	669	737	137	155	142	-	144	3.2	3.4	4.2	-	5.1
	先進工	機械理工/機械理工学				647	687				620	660				-	139				-	4.7
	先進工	応用化	1,129	1,087	945	1,133	1,108	1,075	1,058	908	1,089	1,077	226	175	158	-	198	4.8	6.0	5.7	-	5.4

※工学院大：2019年の合格者数は、学科でのいくつかの入試方式において、学部全体の合格者数のみ公表しているため、学科での合格者数は不明。

大学名	学部名	学科名/専攻等	入学定員					入学者数					定員充足率(%)				
			2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
明治大	総合数理	現象数理	80	80	90	90	90	89	78	94	86	82	111.3	97.5	104.4	95.6	91.1
	総合数理	ネットワークデザイン	80	80	90	90	90	101	77	90	78	89	126.3	96.3	100.0	86.7	98.9
	理工	数	55	55	63	63	63	54	90	55	61	51	98.2	163.6	87.3	96.8	81.0
	理工	情報科	110	110	127	127	127	125	163	101	115	105	113.6	148.2	79.5	90.6	82.7
	理工	機械工	120	120	138	138	138	120	156	116	144	107	100.0	130.0	84.1	104.3	77.5
	理工	機械情報工	120	120	138	138	138	125	144	119	144	125	104.2	120.0	86.2	104.3	90.6
	理工	電気電子生命	205	205	236	236	236	200	246	216	210	222	97.6	120.0	91.5	89.0	94.1
	理工	電気電子生命/電気電子工学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青山学院大	理工	応用化	110	110	127	127	127	160	117	98	141	119	145.5	106.4	77.2	111.0	93.7
	社会情報	社会情報	200	220	220	220	220	270	227	189	218	228	135.0	103.2	85.9	99.1	103.6
	理工	物理・数理	120	130	130	130	130	131	123	121	132	126	109.2	94.6	93.1	101.5	96.9
	理工	情報テクノロジー	85	95	95	95	95	93	99	97	92	93	109.4	104.2	102.1	96.8	97.9
	理工	機械創造工	85	95	95	95	95	94	109	88	92	93	110.6	114.7	92.6	96.8	97.9
	理工	電気電子工	110	120	120	120	120	122	108	111	118	110	110.9	90.0	92.5	98.3	91.7
	理工	化学・生命科	110	115	115	115	115	112	106	116	107	105	101.8	92.2	100.9	93.0	91.3
中央大	理工	数	65	70	70	70	70	51	71	74	66	70	78.5	101.4	105.7	94.3	100.0
	理工	情報工	90	100	100	100	100	94	108	117	111	72	104.4	108.0	117.0	111.0	72.0
	理工	精密機械工	130	145	145	145	145	140	166	155	143	115	107.7	114.5	106.9	98.6	79.3
	理工	電気電子情報通信工	125	135	135	135	135	120	162	142	137	114	96.0	120.0	105.2	101.5	84.4
	理工	応用化	130	145	145	145	145	112	191	117	136	131	86.2	131.7	80.7	93.8	90.3
法政大	情報科	コンピュータ科	78	78	78	78	78	75	87	82	69	82	96.2	111.5	105.1	88.5	105.1
	理工	応用情報工	110	110	110	110	110	120	113	110	105	118	109.1	102.7	100.0	95.5	107.3
	理工	機械工	143	143	143	143	143	134	131	151	140	139	93.7	91.6	105.6	97.9	97.2
	理工	機械工/機械工学	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	理工	電気電子工	110	110	110	110	110	108	127	110	103	98	98.2	115.5	100.0	93.6	89.1
	生命科	環境応用化	80	80	80	80	80	80	66	92	75	79	100.0	82.5	115.0	93.8	98.8

※入学定員：文教協会「全国大学一覧」、各大学HP。入学者数：各大学HP

大学名	学部名	学科名/専攻等	入学定員					入学者数					定員充足率(%)				
			2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
芝浦工業大	システム理工	数理科	70	75	75	75	75	78	78	86	83	100	111.4	104.0	114.7	110.7	133.3
	システム理工	機械制御システム	80	90	90	90	90	90	91	97	115	85	112.5	101.1	107.8	127.8	94.4
	システム理工	電子情報システム	100	115	115	115	115	108	124	127	126	131	108.0	107.8	110.4	109.6	113.9
	工	情報工	100	115	115	115	114	106	132	118	136	116	106.0	114.8	102.6	118.3	101.8
	工	機械工	100	115	115	115	114	120	118	114	128	122	120.0	102.6	99.1	111.3	107.0
	工	機械機能工	100	115	115	115	114	128	138	156	113	92	128.0	120.0	135.7	98.3	80.7
	工	通信工	90	105				93	114				103.3	108.6			
	工	情報通信工			105	105	104			107	111	109			101.9	105.7	104.8
	工	電気工	90	105	105	105	104	93	121	108	111	100	103.3	115.2	102.9	105.7	96.2
	工	電子工	90	105	105	105	104	93	122	111	112	107	103.3	116.2	105.7	106.7	102.9
	工	応用化	90	105	105	105	104	96	127	115	117	107	106.7	121.0	109.5	111.4	102.9
工学院大	情報	コンピュータ科	90	90	90	90	90	96	99	91	85	101	106.7	110.0	101.1	94.4	112.2
	情報	情報デザイン	70	70	70	70	70	68	66	66	71	64	97.1	94.3	94.3	101.4	91.4
	情報	システム数理	60	60	60	60	60	57	58	61	61	63	95.0	96.7	101.7	101.7	105.0
	情報	情報通信工	90	90	90	90	90	95	88	91	95	86	105.6	97.8	101.1	105.6	95.6
	工	機械システム工	95	105	105	105	105	105	110	103	104	108	110.5	104.8	98.1	99.0	102.9
	工	機械工	140	154	154	154	154	139	150	154	166	147	99.3	97.4	100.0	107.8	95.5
	工	電気システム工	110					103					93.6				
	工	電気電子工		120	120	120	120		119	114	123	120		99.2	95.0	102.5	100.0
	先進工	機械理工	65	65	65	65	65	75	59	68	65	69	115.4	90.8	104.6	100.0	106.2
	先進工	機械理工/機械理工学				-	-				-	-				-	-
	先進工	応用化	95	95	95	95	95	101	86	87	89	103	106.3	90.5	91.6	93.7	108.4

※入学定員:文教協会「全国大学一覧」、各大学HP。入学者数:各大学HP

成蹊大学の一般入試結果(2016年度から2020年度)

学部	項目／年度	一般入試					
		2016	2017	2018	2019	2020	平均
経済学部 ※1	志願者	5,449	7,439	5,800	8,264		6,738
	受験者数	5,117	7,015	5,442	7,849		6,355
	合格者	1,014	964	920	1,021		979
	入学者	294	255	304	260		278
	入学定員	260	275	295	295		281
	受験者／合格者 ※実質倍率	5.0	7.3	5.9	7.7		6.5
経済学部 ※2	志願者					3,925	3,925
	受験者数					3,650	3,650
	合格者					556	556
	入学者					128	128
	入学定員					137	137
	受験者／合格者 ※実質倍率					6.6	6.6
理工学部	志願者	4,589	4,118	4,952	5,579	5,485	4,944
	受験者数	4,298	3,798	4,666	5,259	5,188	4,641
	合格者	1,126	1,297	1,209	1,214	1,246	1,218
	入学者	225	327	267	258	238	263
	入学定員	279	279	289	289	289	285
	受験者／合格者 ※実質倍率	3.8	2.9	3.9	4.3	4.2	3.8
文学部	志願者	5,050	5,362	4,873	5,094	4,220	4,919
	受験者数	4,728	5,028	4,625	4,836	3,908	4,625
	合格者	1,148	1,136	955	941	1,037	1,043
	入学者	259	276	272	245	236	257
	入学定員	282	283	283	282	266	279
	受験者／合格者 ※実質倍率	4.1	4.4	4.8	5.1	3.8	4.4
法学部	志願者	5,532	6,562	5,537	6,097	3,953	5,536
	受験者数	5,137	6,230	5,193	5,791	3,630	5,196
	合格者	1,446	1,323	1,119	986	1,134	1,201
	入学者	344	300	299	279	308	306
	入学定員	296	296	306	306	306	302
	受験者／合格者 ※実質倍率	3.6	4.7	4.6	5.9	3.2	4.3
経営学部 ※2	志願者					4,253	4,253
	受験者数					3,989	3,989
	合格者					649	649
	入学者					159	159
	入学定員					165	165
	受験者／合格者 ※実質倍率					6.1	6.1
全体	志願者	20,620	23,481	21,162	25,034	21,836	22,426
	受験者数	19,280	22,071	19,926	23,735	20,365	21,075
	合格者	4,734	4,720	4,203	4,162	4,622	4,488
	入学者	1,122	1,158	1,142	1,042	1,069	1,106
	入学定員	1,117	1,133	1,173	1,172	1,163	1,151
	受験者／合格者 ※実質倍率	4.1	4.7	4.7	5.7	4.4	4.7

※1:2020年4月より新しい経済学部(経済数理学科、現代経済学科)、経営学部(総合経営学科)に改組

※2:2020年4月より新設

成蹊大学
「理工学部 理工学科」
設置に関するニーズ調査(仮称)
結果報告書
【高校生対象調査】

令和3年2月
株式会社 進研アド
10

1. 調査目的

2022年4月開設予定の成蹊大学「理工学部 理工学科」新設構想に関して、高校生からの進学ニーズを把握する。

2. 調査概要

高校生対象調査		
調査対象		高校2年生
調査エリア		埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
調査方法		高校留置き調査
調査対象数	依頼数 (依頼校数)	14,895人(105校)
	有効回収数 (回収校数)	10,351人(94校) 有効回収率:69.5%
調査時期		2020年11月11日(水)～2020年12月15日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

高校生対象調査
・性別 ・高校種別 ・高校所在地 ・所属クラス ・高校卒業後の希望進路 ・興味のある学問系統 ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度 ・成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向 ・成蹊大学「理工学部 理工学科」への入学意向

高校生対象 調査結果まとめ

回答者の属性

※本調査は、成蹊大学の「理工学部 理工学科」に対する需要を確認するための調査として設計。成蹊大学の主な学生募集エリアである埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県に所在する高校の高校2年生に調査を実施し、10,351人から回答を得た。

- 回答者の性別は「男性」が56.7%、「女性」が42.8%である。
- 回答者の在籍高校種別は「公立」が49.9%、「私立」が50.1%である。
- 回答者の在籍高校所在地は、成蹊大学の所在地である「東京都」が69.8%を占め、最も多い。次に「神奈川県」が16.6%、「埼玉県」が12.3%と続く。
- 回答者の所属クラスは「理系クラス(理系コース)」が67.5%で最も多い。次に「コース選択はない」が17.7%、さらに「文系クラス(文系コース)」が9.3%と続く。

高校卒業後の希望進路や興味のある学問系統

- 回答者の高校卒業後の希望進路を複数回答で聴取したところ、「私立大学に進学」の割合が79.8%で最も高い。次いで「国公立大学に進学」が35.0%、「専門学校・専修学校に進学」が8.4%と続く。「私立大学に進学」の割合が最も高いことから、成蹊大学がターゲットとする対象に調査を実施出来ていると考えられる。
- 回答者の興味のある学問系統を複数回答で聴取したところ、理工学部 理工学科の学びと関連する「理学(数学、物理学、化学など)」「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」が同率で29.3%と最も高い。次いで、「情報科学」が21.1%と続く。

成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目において6割を超える。
- ・最も魅力度が高いのは、「特色⑤数学・物理・化学・生物といった理工学の基礎力だけでなく、読解力、文章作成力、プレゼンテーションスキル、コミュニケーション力といった社会人基礎力も鍛えます。」(79.2%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も33.6%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「特色④すべての専攻で確かなICT活用力を身につけます。各専攻の専門知識とICTを高度に駆使して、実社会における課題を解決できる力を養います。」(75.2%)、さらに「特色③「連携プロジェクト」科目では、専攻間の垣根を越えて学生同士が協働し、企業や地域における課題をチームで解決するための実践力を磨きます。」(75.0%)、「特色①1学科の中に5つの専攻(データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化学)を設置。所属専攻以外の科目も履修でき、融合分野も学べます。」(72.5%)、「特色②意識の高い学生に向けて、時代のニーズを捉えた専攻融合型の「特別プログラム」を設置。「生命科学プログラム」「経営科学プログラム」「教育手法プログラム」を構想しています。」(69.4%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」を「受験したいと思う」と答えた人は19.3% (1,996人)である。

成蹊大学「理工学部 理工学科」への入学専攻意向【第1希望】

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」を「受験したいと思う」と答えた1,996人のうち、成蹊大学「理工学部 理工学科」を受験して合格したら、第1希望で入学したい専攻の結果は、以下の通り。

データ数理専攻：13.9%(277人)

コンピュータ科学専攻：37.2%(742人)

機械システム専攻：20.8%(416人)

電気電子専攻：7.1%(141人)

応用化学専攻：15.3%(305人)

成蹊大学「理工学部 理工学科」への入学専攻意向【第2希望】

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」を「受験したいと思う」と答えた1,996人のうち、成蹊大学「理工学部 理工学科」を受験して合格したら、第2希望で入学したい専攻の結果は、以下の通り。

データ数理専攻：12.8%(256人)

コンピュータ科学専攻：19.7%(393人)

機械システム専攻：23.2%(463人)

電気電子専攻：14.1%(281人)

応用化学専攻：5.5%(109人)

成蹊大学「理工学部 理工学科」への入学意向者数【第1希望】

※ここからは、成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」のいずれかの専攻に入学したいと回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向【第1希望】は18.2% (1,881人) で、学科で予定している入学定員420人を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

< 属性別 >

◇性別

- 「男性」の入学意向【第1希望】は24.0% (5,864人中、1,410人) と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校所在地別

- 成蹊大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向【第1希望】は18.3% (7,225人中、1,324人) と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校種別

- 「公立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望】は15.6% (5,170人中、805人) と、予定している入学定員数を上回る。また、「私立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望】は20.8% (5,181人中、1,076人) と、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇所属クラス別

- 「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向【第1希望】は21.8% (6,992人中、1,521人) と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- 成蹊大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向【第1希望】は19.8% (8,261人中、**1,635人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇興味のある学問系統別

- 「理工学部 理工学科」の学びと関連が深い「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望】は34.3% (3,031人中、**1,039人**)、「理学(数学、物理学、化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望】は30.6% (3,034人中、**929人**)である。また、「情報科学」に興味がある回答者の入学意向【第1希望】は40.7% (2,186人中、**890人**)といずれも予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- 成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向【第1希望】はいずれの特色でも20%を超えており、入学意向者数はすべて1,600人を超え、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」への 入学意向者数【第1希望】

※ここからは、成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「「データ数理専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- ・回答者全体における入学意向【第1希望 データ数理専攻】は2.7% (277人)で、予定している入学定員70人を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

< 属性別 >

◇性別

- ・「男性」の入学意向【第1希望 データ数理専攻】は3.6% (5,864人中、209人)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇高校所在地別

- ・成蹊大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 データ数理専攻】は2.7% (7,225人中、193人)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇高校種別

- ・「公立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 データ数理専攻】は2.7% (5,170人中、140人)と、予定している入学定員数を2倍上回る。また、「私立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 データ数理専攻】は2.6% (5,181人中、137人)と、予定している入学定員数を上回る。

◇所属クラス別

- ・「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向【第1希望 データ数理専攻】は3.1% (6,992人中、219人)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- 成蹊大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向【第1希望 データ数理専攻】は2.8% (8,261人中、**233人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇興味のある学問系統別

- 「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の学びと関連が深い「理学(数学、物理学、化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望 データ数理専攻】は7.0% (3,034人中、**211人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。また、「情報科学」に興味がある回答者の入学意向【第1希望 データ数理専攻】は4.8% (2,186人中、**106人**)と、予定している入学定員数を上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- 成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向【第1希望 データ数理専攻】はいずれの特色でも3%を超えており、入学意向者数はすべて250人以上で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」への 入学意向者数【第1希望】

※ここからは、成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「コンピュータ科学専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は7.2% (742人)で、予定している入学定員90人を8倍以上上回る入学意向者がみられた。

< 属性別 >

◇性別

- 「男性」の入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は9.9% (5,864人中、580人)と、予定している入学定員数を6倍以上上回る。「女性」の入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は3.6% (4,435人中、159人)と、予定している入学定員数を上回る。

◇高校所在地別

- 成蹊大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は7.3% (7,225人中、528人)と、予定している入学定員数を5倍以上上回る。

◇高校種別

- 「公立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は6.4% (5,170人中、329人)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。また、「私立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は8.0% (5,181人中、413人)と、予定している入学定員数を4倍以上上回る。

◇所属クラス別

- ・「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は8.5%(6,992人中、**597人**)と、予定している入学定員数を6倍以上上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- ・成蹊大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は8.0%(8,261人中、**661人**)と、予定している入学定員数を7倍以上上回る。

◇興味のある学問系統別

- ・「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の学びと関連が深い「理学(数学、物理学、化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望】は8.9%(3,034人中、**271人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。また、「情報科学」に興味がある回答者の入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】は24.5%(2,186人中、**535人**)と、予定している入学定員数を5倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向【第1希望 コンピュータ科学専攻】はいずれの特色でも8%を超えており、入学意向者数はすべて600人を超え、予定している入学定員数を6倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」への 入学意向者数【第1希望】

※ここからは、成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「**機械システム専攻**」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科 **機械システム専攻**」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- ・回答者全体における入学意向【第1希望 機械システム専攻】は4.0% (416人)で、予定している入学定員90人を4倍以上上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- ・「男性」の入学意向【第1希望 機械システム専攻】は5.9% (5,864人中、**346人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校所在地別

- ・成蹊大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 機械システム専攻】は4.0% (7,225人中、**290人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校種別

- ・「公立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 機械システム専攻】は3.2% (5,170人中、**166人**)と、予定している入学定員数を上回る。また、「私立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 機械システム専攻】は4.8% (5,181人中、**250人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇所属クラス別

- ・「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向【第1希望 機械システム専攻】は4.9% (6,992人中、**341人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- 成蹊大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向【第1希望 機械システム専攻】は4.4% (8,261人中、**363人**)と、予定している入学定員数を4倍以上上回る。

◇興味のある学問系統別

- 「理工学部 理工学科 機械システム専攻」の学びと関連が深い「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望 機械システム専攻】は10.8% (3,031人中、**326人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- 成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向【第1希望 機械システム専攻】はいずれの特色でも4%を超えており、入学意向者数はすべて370人を超え、予定している入学定員数を4倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」への 入学意向者数【第1希望】

※ここからは、成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「電気電子専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- ・回答者全体における入学意向【第1希望 電気電子専攻】は1.4% (141人) で、予定している入学定員70人を2倍以上上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- ・「男性」の入学意向【第1希望 電気電子専攻】は2.0% (5,864人中、117人) と、予定している入学定員数を上回る。

◇高校所在地別

- ・成蹊大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 電気電子専攻】は1.3% (7,225人中、96人) と、予定している入学定員数を上回る。

◇高校種別

- ・「私立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 電気電子専攻】は1.6% (5,181人中、85人) と、予定している入学定員数を上回る。

◇所属クラス別

- ・「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向【第1希望 電気電子専攻】は1.5% (6,992人中、108人) と、入学定員数を上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- 成蹊大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向【第1希望 電気電子専攻】は1.5% (8,261人中、**124人**)と、予定している入学定員数を上回る。

◇興味のある学問系統別

- 「理工学部 理工学科 電気電子専攻」の学びと関連が深い「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望】は3.6% (3,031人中、**108人**)と、予定している入学定員数を上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- 成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向【第1希望 電気電子専攻】はいずれの特色でも1.5%を超えており、入学意向者数はすべて100人を超え、予定している入学定員数を上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」への 入学意向者数【第1希望】

※ここからは、成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「「応用化学専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」の入学意向者と定義し、分析を行う。

- 回答者全体における入学意向【第1希望 応用化学専攻】は2.9% (305人)で、予定している入学定員80人を3倍以上上回る入学意向者がみられた。

<属性別>

◇性別

- 「男性」の入学意向【第1希望 応用化学専攻】は2.7% (5,864人中、158人)と、予定している入学定員数を上回る。「女性」の入学意向【第1希望 応用化学専攻】は3.2% (4,435人中、144人)と、予定している入学定員数を上回る。

◇高校所在地別

- 成蹊大学の所在地である「東京都」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 応用化学専攻】は3.0% (7,225人中、217人)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇高校種別

- 「公立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望 応用化学専攻】は2.2% (5,170人中、114人)と、予定している入学定員数を上回る。また、「私立」の高校在籍者からの入学意向【第1希望】は3.7% (5,181人中、191人)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇所属クラス別

- ・「理系クラス(理系コース)」に所属している回答者の入学意向【第1希望 応用化学専攻】は3.7%(6,992人中、**256人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇高校卒業後の希望進路別

- ・成蹊大学を受験・入学する可能性が高い「私立大学に進学」を考えている回答者の入学意向【第1希望 応用化学専攻】は3.1%(8,261人中、**254人**)と、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇興味のある学問系統別

- ・「理工学部 理工学科 応用化学専攻」の学びと関連が深い「理学(数学、物理学、化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望 応用化学専攻】は7.0%(3,034人中、**213人**)と、予定している入学定員数を2倍以上上回る。また、「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」に興味がある回答者の入学意向【第1希望 応用化学専攻】は4.2%(3,031人中、**128人**)と、予定している入学定員数を上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている回答者の入学意向【第1希望 応用化学専攻】はいずれの特色でも3%を超えており、入学意向者数はすべて270人を超え、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

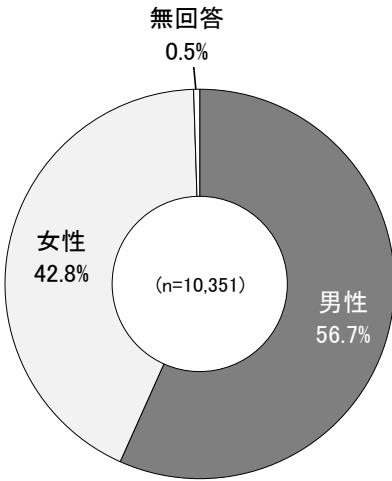
高校生対象 調査結果



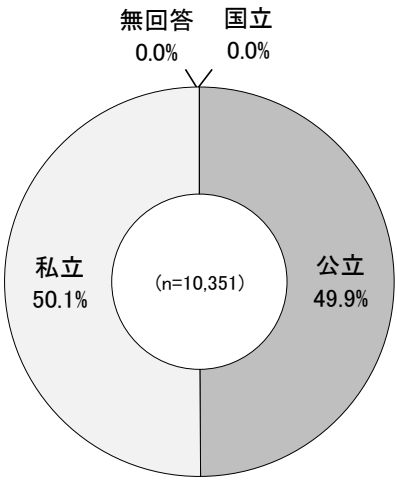
回答者の属性(性別／高校種別／高校所在地／所属クラス)

資料5

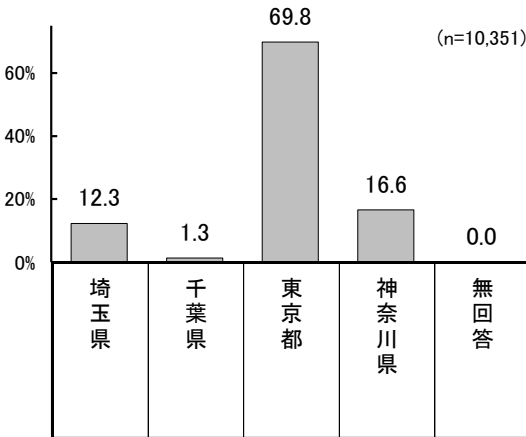
性別



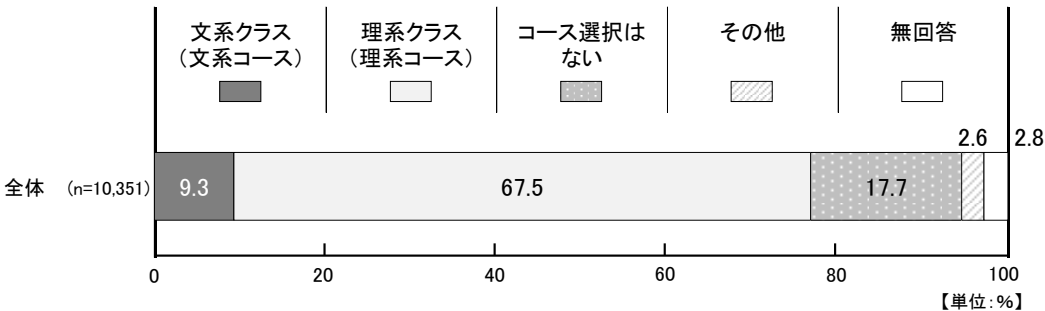
高校種別



高校所在地



所属クラス

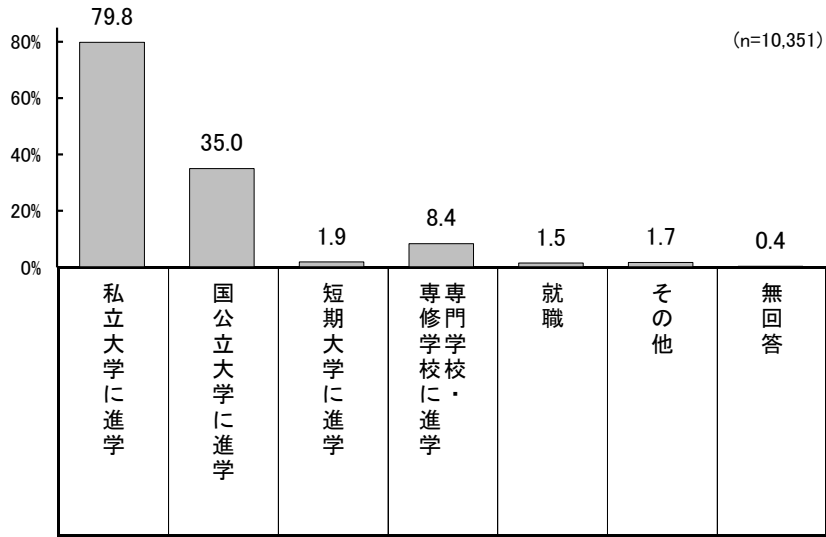


高校卒業後の希望進路

資料5

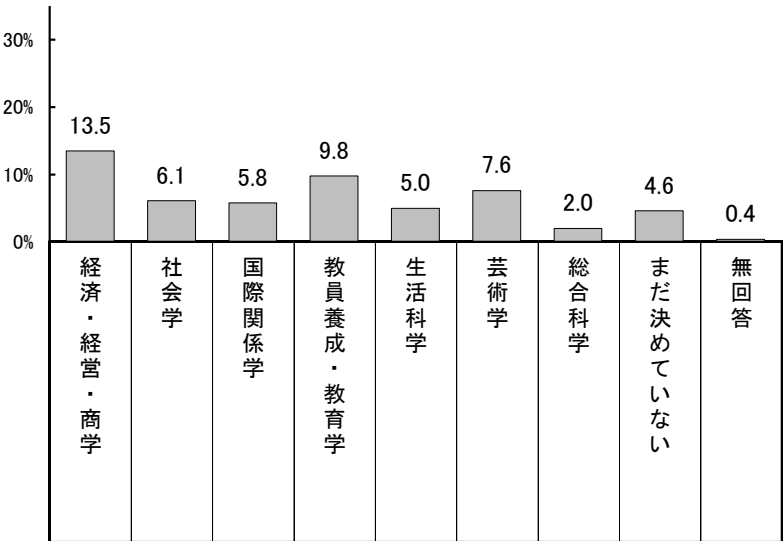
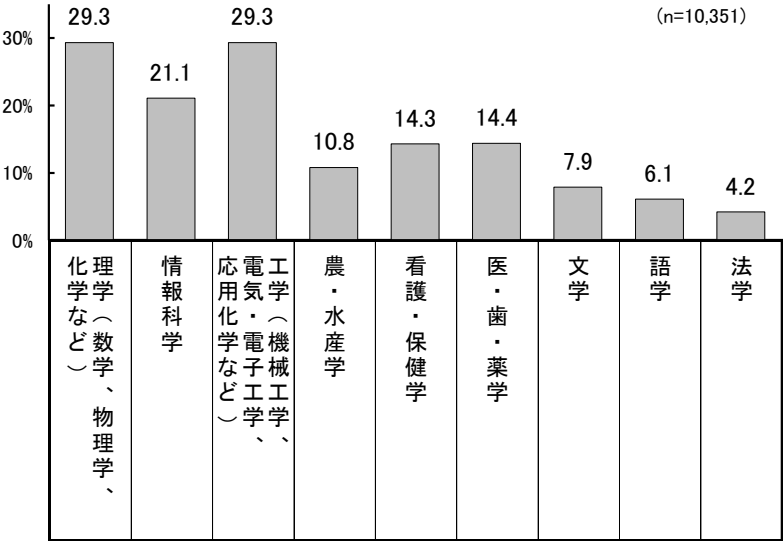
■高校卒業後の希望進路

Q1. あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。
以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)



興味のある学問系統

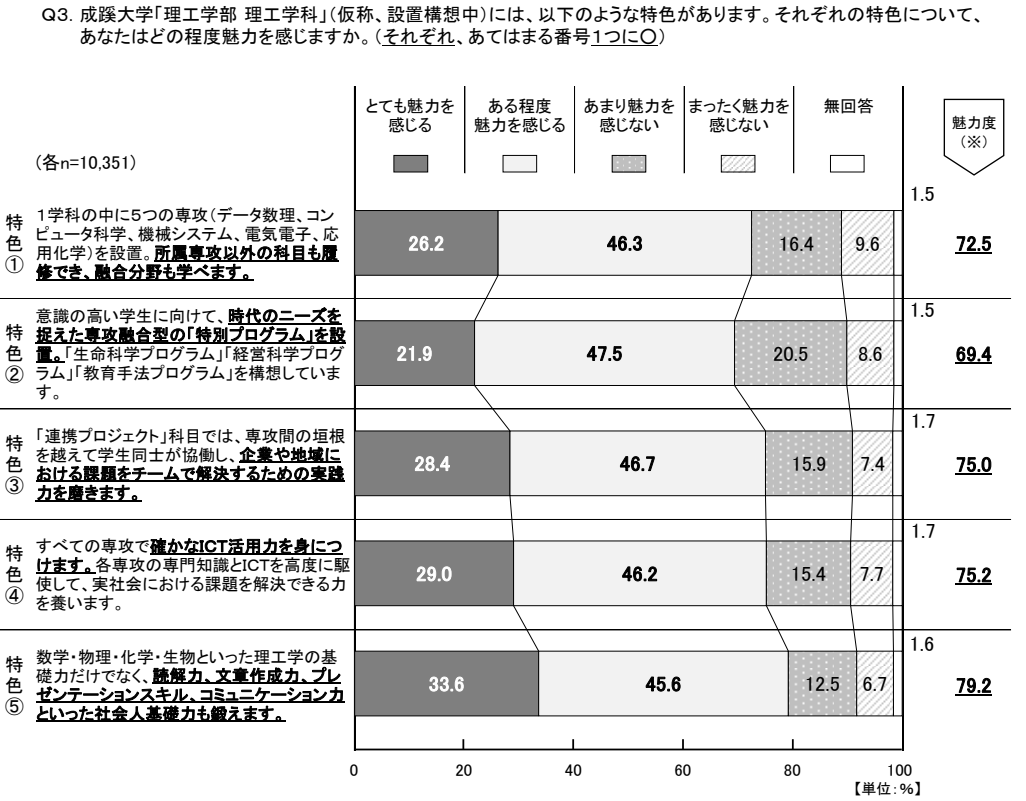
Q2. あなたは、どのような学問に興味がありますか。
以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)
(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)



成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する 魅力度

資料5

■成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度



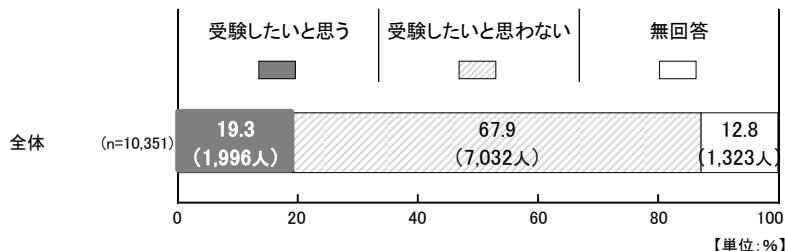
※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向／ 入学意向／受験意向別入学意向【第1希望】

資料5

■成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向

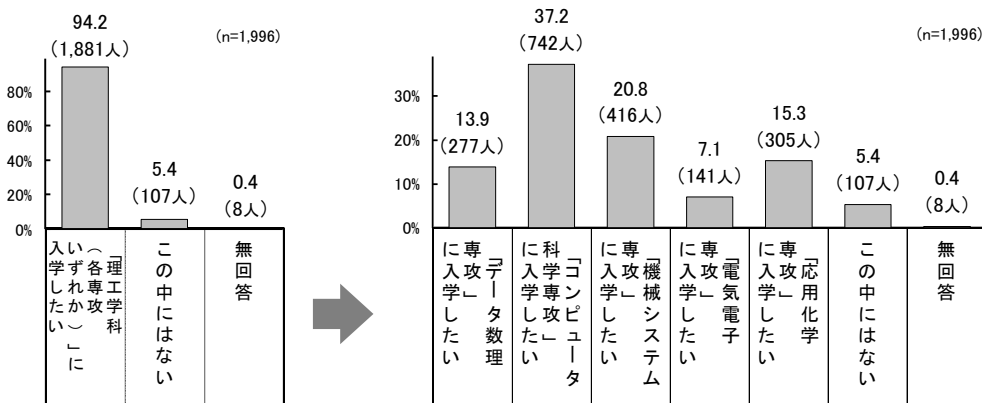
Q4. あなたは、成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
※入試方式は問いません。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた1,996人のみ抽出

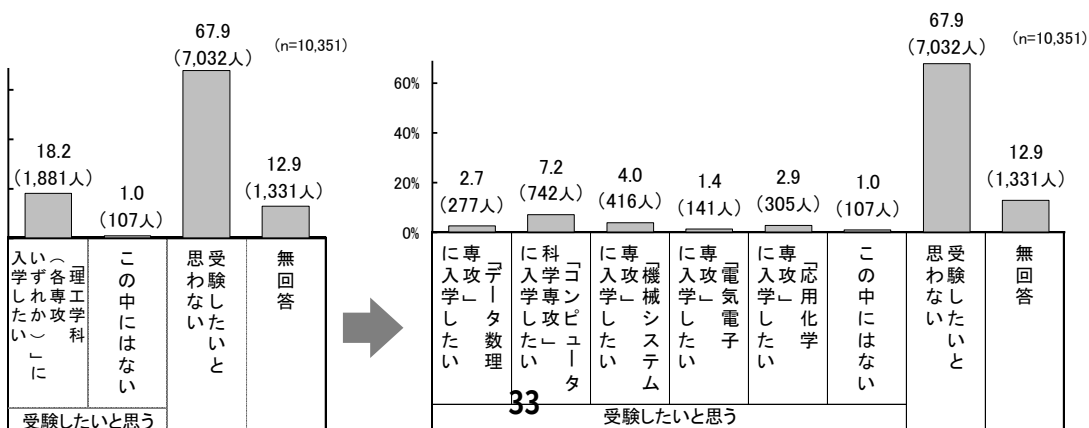
■成蹊大学「理工学部 理工学科」への入学意向【第1希望】

Q5. あなたは、成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(第1希望から1つ、第2希望から1つ)



「受験意向(Q4)」と「入学専攻意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

■成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向別入学専攻意向【第1希望】

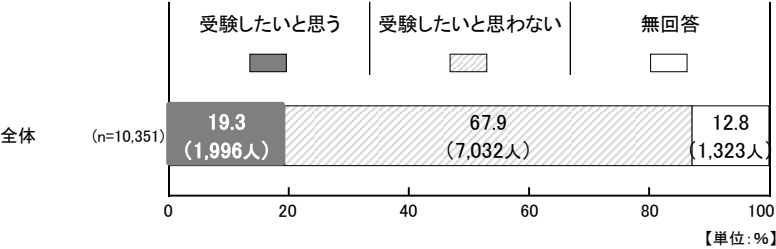


成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向／
入学意向／受験意向別入学意向【第2希望】

資料5

■成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向

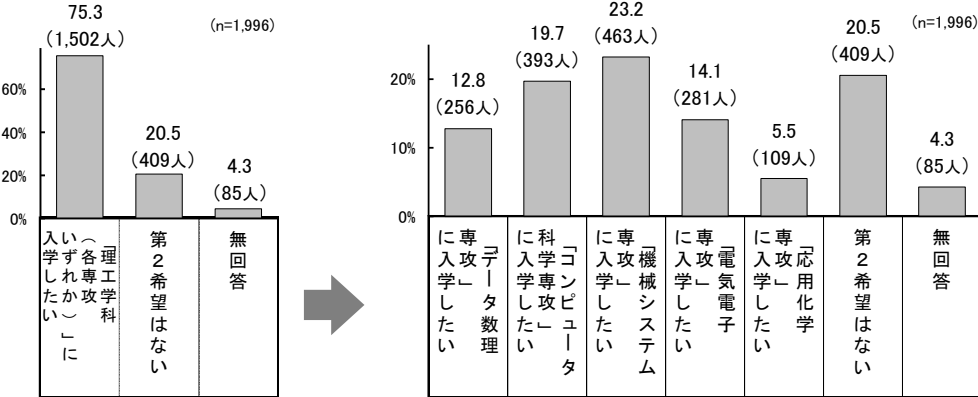
Q4. あなたは、成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
※入試方式は問いません。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)



「受験したいと思う」と答えた1,996人のみ抽出

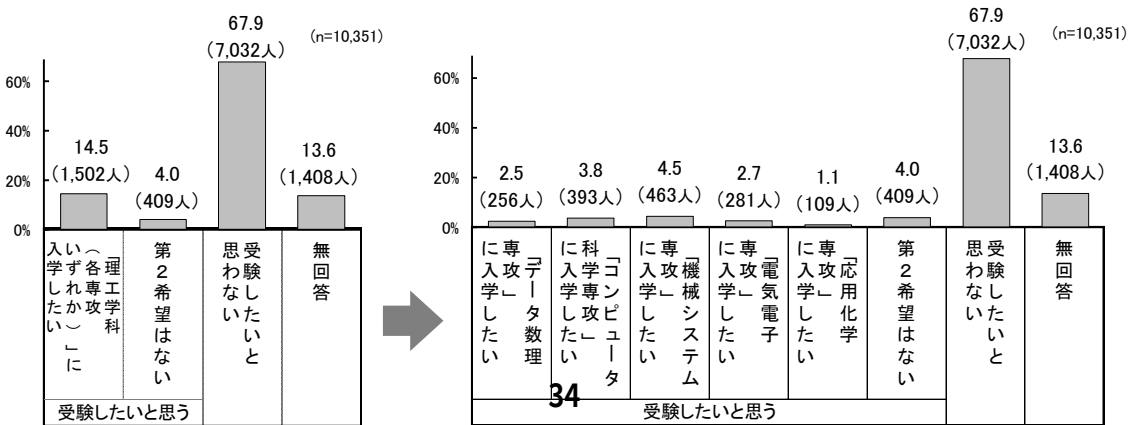
■成蹊大学「理工学部 理工学科」への入学意向【第2希望】

Q5. あなたは、成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、どの専攻に入学したいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(第1希望から1つ、第2希望から1つ)



「受験意向(Q4)」と「入学専攻意向(Q5)」を
かけあわせて集計(母数は全回答者)

■成蹊大学「理工学部 理工学科」への受験意向別入学専攻意向【第2希望】

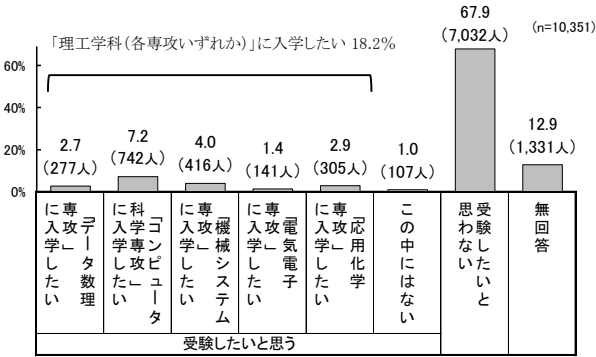


成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)への
受験意向別入学意向【第1希望】

資料5

■成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)への受験意向別
入学意向【第1希望】

※成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、
Q5の第1希望で「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」
「電気電子専攻」「応用化学専攻」のいずれかの専攻に入学したいと回答した人を
成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)の入学意向者と定義する。



<属性別>

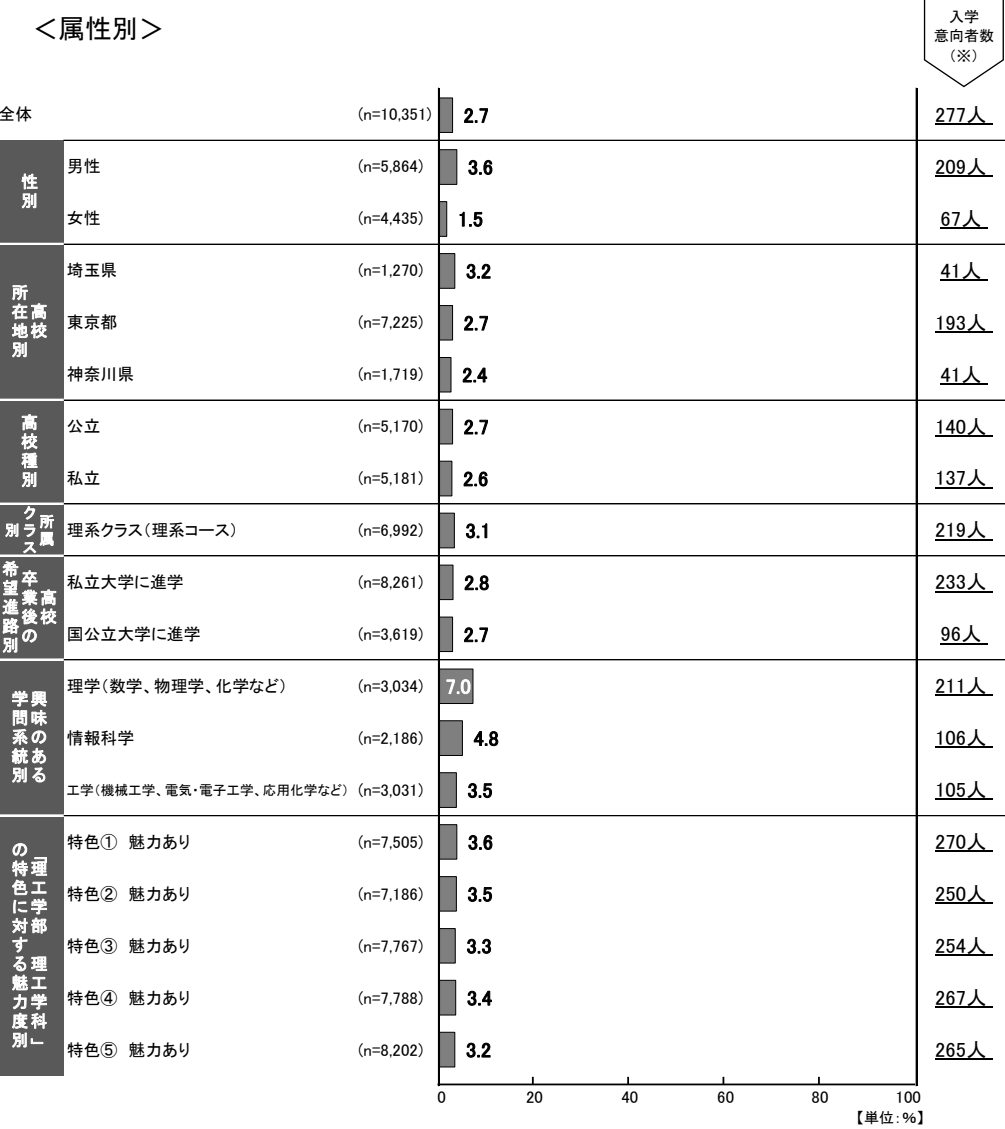
全体		(n=10,351)	18.2	1,881人
性別	男性	(n=5,864)	24.0	1,410人
	女性	(n=4,435)	10.5	464人
所在地別 高校	埼玉県	(n=1,270)	23.8	302人
	東京都	(n=7,225)	18.3	1,324人
	神奈川県	(n=1,719)	13.8	238人
高校種別	公立	(n=5,170)	15.6	805人
	私立	(n=5,181)	20.8	1,076人
所属 クラス	理系クラス(理系コース)	(n=6,992)	21.8	1,521人
卒業後の 希望進路別 高校	私立大学に進学	(n=8,261)	19.8	1,635人
	国公立大学に進学	(n=3,619)	19.0	689人
興味のある 学問系統別	理学(数学、物理学、化学など)	(n=3,034)	30.6	929人
	情報科学	(n=2,186)	40.7	890人
	工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)	(n=3,031)	34.3	1,039人
の理工学部 特色に対する 理工学科一 の魅力度別	特色① 魅力あり	(n=7,505)	24.5	1,838人
	特色② 魅力あり	(n=7,186)	23.0	1,650人
	特色③ 魅力あり	(n=7,767)	22.4	1,739人
	特色④ 魅力あり	(n=7,788)	23.0	1,789人
	特色⑤ 魅力あり	(n=8,202)	21.6	1,769人

成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」への
受験意向別入学意向【第1希望】

資料5

■成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」への受験意向別入学意向【第1希望】

※成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「「データ数理専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の入学意向者と定義する。



※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「「データ数理専攻」に入学したい」と回答した人の人数

成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」への受験意向別入学意向【第1希望】

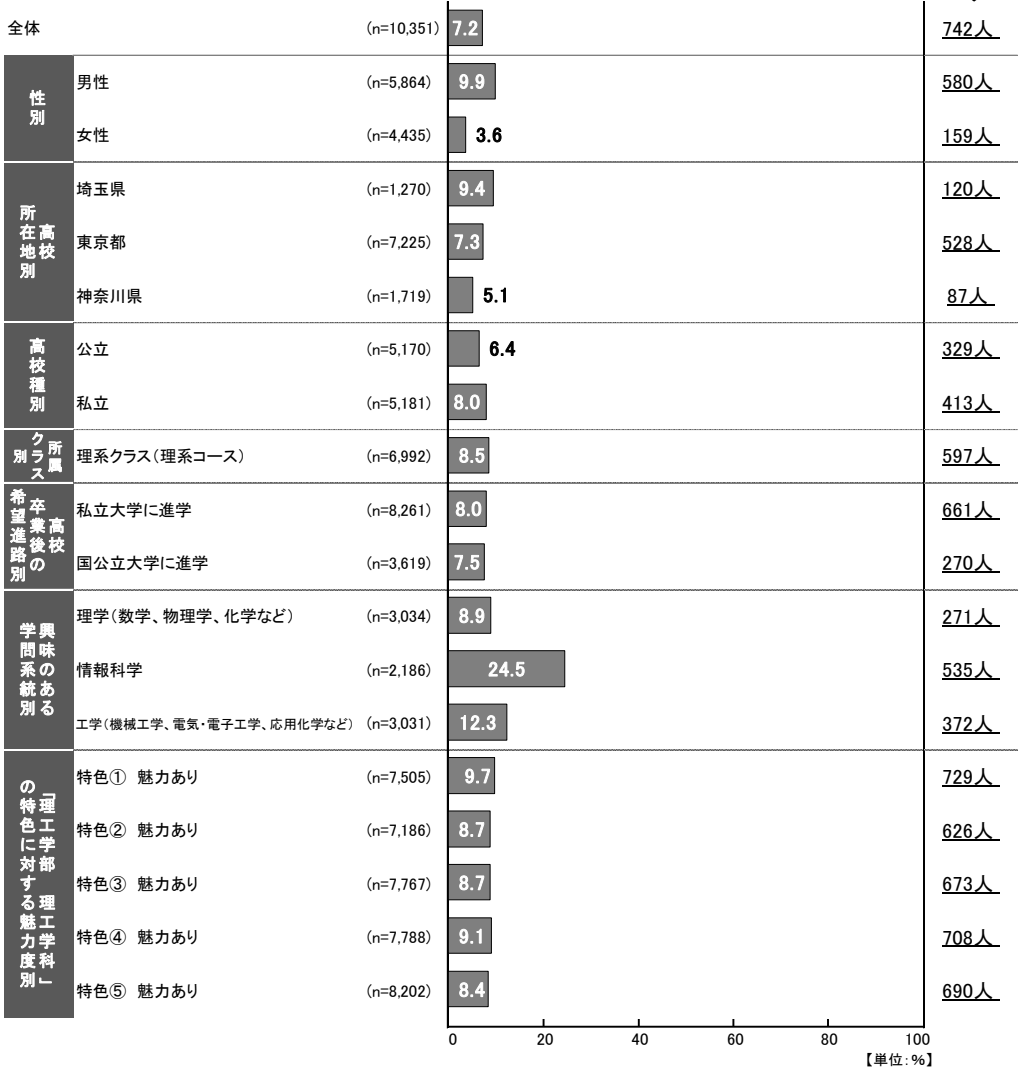
資料5

■成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」への受験意向別入学意向【第1希望】

※成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、Q5の第1希望で「「コンピュータ科学専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の入学意向者と定義する。

<属性別>

入学
意向者数
(※)



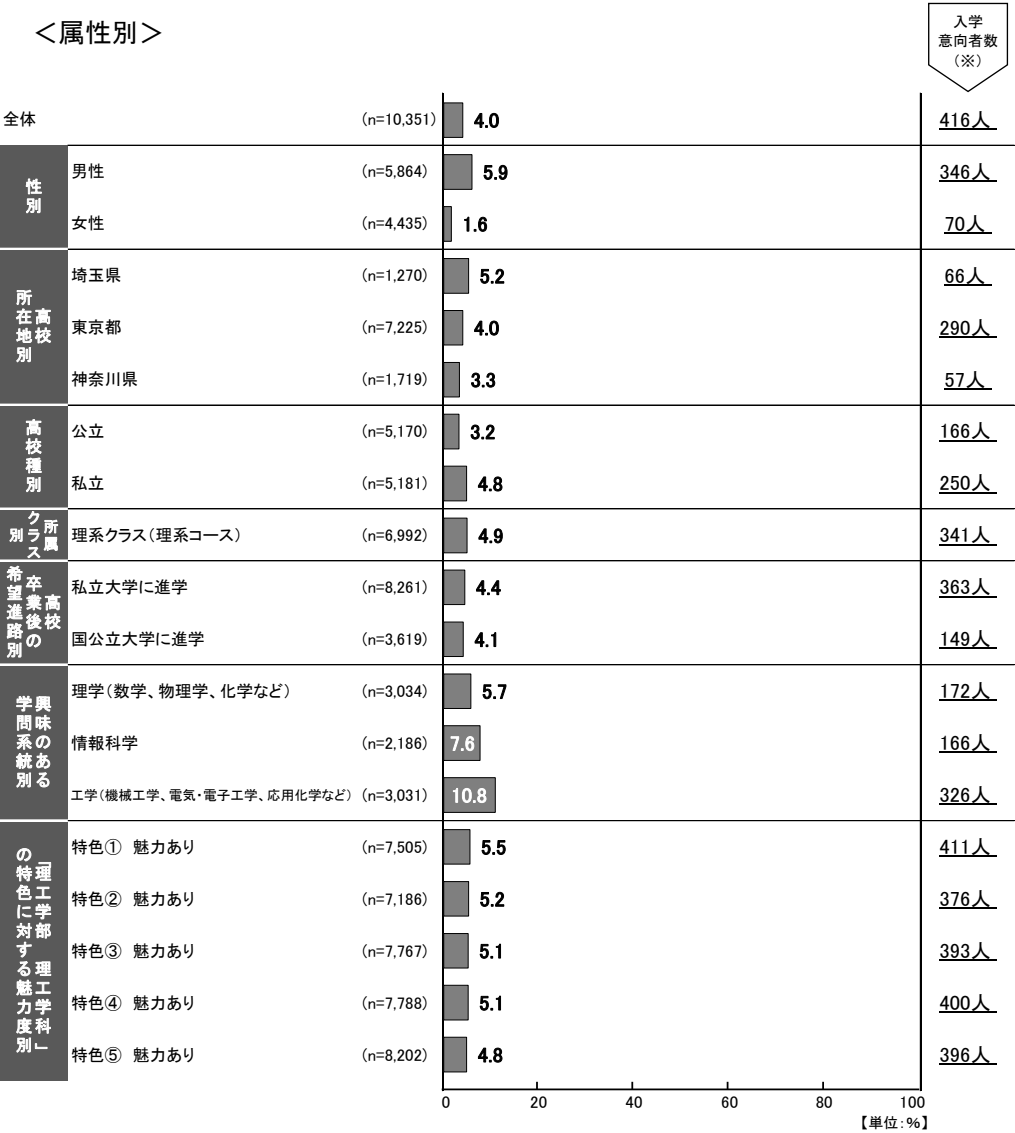
※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「「コンピュータ科学専攻」に入学したい」と回答した人の人数

成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」への
受験意向別入学意向【第1希望】

資料5

■成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」への受験意向別
入学意向【第1希望】

※成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、
Q5の第1希望で「「機械システム専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工
学部 理工学科 機械システム専攻」の入学意向者と定義する。

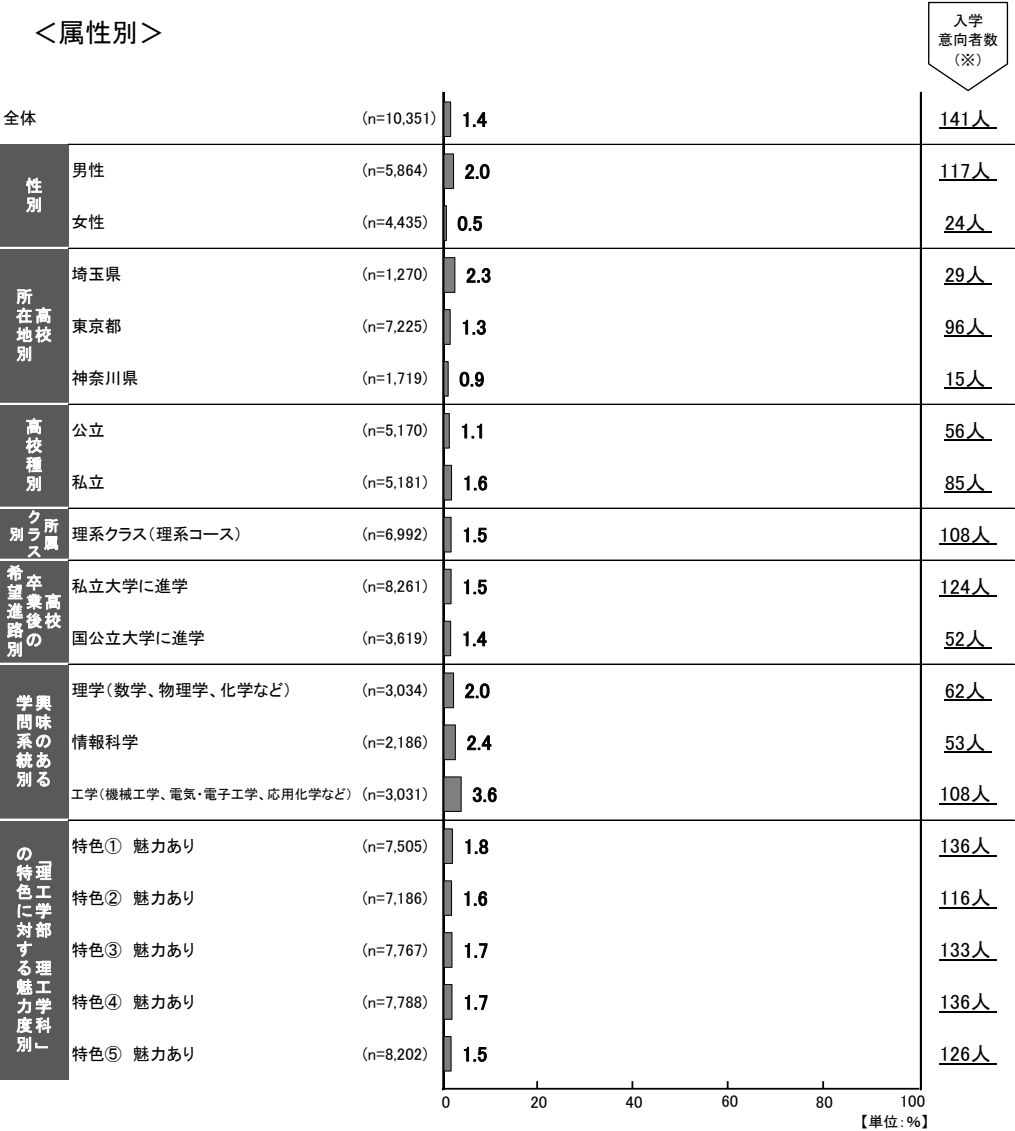


※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「「機械システム専攻」に入学したい」と回答した人の人数

成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」への 受験意向別入学意向【第1希望】

■成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」への受験意向別入学意向 資料5
【第1希望】

※成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、
Q5の第1希望で「「電気電子専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部
理工学科 電気電子専攻」の入学意向者と定義する。



※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「「電気電子専攻」に入学したい」と回答した人の人数

成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」への 受験意向別入学意向【第1希望】

■成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」への受験意向別入学意向【第1希望】

資料5

※成蹊大学「理工学部 理工学科」に対して、Q4で「受験したいと思う」と回答し、かつ、
Q5の第1希望で「「応用化学専攻」に入学したい」と回答した人を成蹊大学「理工学部
理工学科 応用化学専攻」の入学意向者と定義する。

<属性別>



※入学意向者数＝「受験したいと思う」かつ「「応用化学専攻」に入学したい」と回答した人の人数

卷末資料 調査票

成蹊大学「理工学部 理工学科」

<データ数理専攻/コンピュータ科学専攻/機械システム専攻/電気電子専攻/応用化学専攻>

(すべて仮称、設置構想中)に関するアンケート

成蹊大学では2022年(令和4年)4月より、「理工学部 理工学科」＜データ科学専攻/コンピュータ科学専攻/機械システム専攻/電気電子専攻/応用化学専攻＞(すべて仮称)の設置を整理しています。

このアンケートは、高校生のみなさんの進路選択に対する考え方や、大学で学びたいことなどの意見をお伺いし、成蹊大学の教育をより充実したものにするための参考資料とさせていただきます。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※ このアンケートや同封した資料に記載されている事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

1. 回答は、**あてはまる番号に「○」印**をつけてください。
 2. この用紙は、電算処理しますので汚さないようにしてください。
 3. 記入は、必ず鉛筆又はシャープペンシルで濃く書いてください。
 4. 下記の【記入例】にしたがって記入してください。
- 特に、「○」印は、番号丸格からはみ出さないようにつけてください。

ここに〇印をつけてください

10 11

理学

良い 記入例	○ 理学 ② 情報科学
-----------	----------------

悪い 記入例	理学 情報科学
-----------	------------

① 理学
② 情報科学

- 理学
- 情报科学

① 理学
② 情報科学

◆最初にあなた自身についてお聞きします。

性別 (1つに○)	① 男性 ② 女性	学年 (1つに○)	① 1年生 ② 2年生 ③ 3年生
在籍している 高校名	高校所在地 [] 都・道・府・県 ① 国立 ② 公立 ③ 私立 (←1つに○) [] 高等学校		
所属クラス (1つに○)	① 文系クラス(文系コース) ③ コース選択はない ② 理系クラス(理系コース) ④ その他		

◆高校卒業後の進路や、興味のある学びについてお聞きます。

あなたは、高校卒業後の進路について、現時点ではどのように考えていますか。

以下の項目から、あてはまる番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

- ① 私立大学に進学 ③ 短期大学に進学 ⑤ 就職
② 国公立大学に進学 ④ 専門学校・専修学校に進学 ⑥ その他

あなたは、どのような学問に興味がありますか。

以下の項目から、興味のある学問系統の番号すべてに○をつけてください。(いくつでも)

(現時点で進学を希望されていない方も、進学する場合を想像してお答えください。)

- | | | |
|----------------------------|------------|------------|
| ① 理学 (数学、物理学、化学など) | ⑦ 文学 | ⑬ 教員養成・教育学 |
| ② 情報科学 | ⑧ 語学 | ⑭ 生活科学 |
| ③ 工学 (機械工学、電気・電子工学、応用化学など) | ⑨ 法学 | ⑮ 芸術学 |
| ④ 農・水産学 | ⑩ 経済・経営・商学 | ⑯ 総合科学 |
| ⑤ 看護・保健学 | ⑪ 社会学 | ⑰ まだ決めていない |
| ⑥ 医・歯・薬学 | ⑫ 国際関係学 | |

◆成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)についてお聞きます。

成蹊大学では、現在高校2年生のみなさんが大学生となる2022年(令和4年)4月に、
「理工学部 理工学科」<データ数理専攻/コンピュータ科学専攻/機械システム専攻/電気電子専攻/応用化学専攻>
(すべて仮称)の設置を構想しています。

※ ここからは、アンケートに同封している資料を見てからお答えください ※

Q3 成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力 を感じる	ある程度 魅力 を感じる	あまり 魅力 を感じない	まったく 魅力 を感じない
特色①	1学科の中に5つの専攻(データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化学)を設置。所属専攻以外の科目も履修でき、融合分野も学べます。	①	②	③	④
特色②	意識の高い学生に向けて、時代のニーズを捉えた専攻融合型の「特別プログラム」を設置。「生命科学プログラム」「経営科学プログラム」「教育手法プログラム」を構想しています。	①	②	③	④
特色③	「連携プロジェクト」科目では、専攻間の垣根を越えて学生同士が協働し、企業や地域における課題をチームで解決するための実践力を磨きます。	①	②	③	④
特色④	すべての専攻で確かなIT活用力を身につけます。各専攻の専門知識とITを高度に駆使して、実社会における課題を解決できる力を養います。	①	②	③	④
特色⑤	数学・物理・化学・生物といった理工学の基礎力だけでなく、読解力、文章作成力、プレゼンテーションスキル、コミュニケーション力といった社会人基礎力も磨きます。	①	②	③	④

Q4 あなたは、成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)を受験してみたいと思いますか。
※入試方式は問いません。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。(1つだけ)

- ① 受験したいと思う ② 受験したいと思わない

Q5 あなたは、成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)を受験して合格したら、
どの専攻に入りたいと思いますか。あなたの気持ちに近い方の番号1つに○をつけてください。
(第1希望欄から1つ、第2希望欄から1つ選んで○をつけてください。)

合格したら入学したい専攻(すべて仮称、設置構想中)※第2希望まで教えてください。	
第1希望 (下記↓の中から番号1つに○)	第2希望 (下記↓の中から番号1つに○)
① 「データ数理専攻」に入りたい	① 「データ数理専攻」に入りたい
② 「コンピュータ科学専攻」に入りたい	② 「コンピュータ科学専攻」に入りたい
③ 「機械システム専攻」に入りたい	③ 「機械システム専攻」に入りたい
④ 「電気電子専攻」に入りたい	④ 「電気電子専攻」に入りたい
⑤ 「応用化学専攻」に入りたい	⑤ 「応用化学専攻」に入りたい
⑥ この中にはない	⑥ 第2希望はない

* * * 質問は以上です。ご協力ありがとうございました。 *

* *

《各専攻について》※各専攻はすべて仮称、設置構想中です。

- ◆データ数理専攻/数値問題のよりよい数値モデル化を考えるモデリング手法、数値モデル化した問題を解くアルゴリズムや最適化手法、様々なデータを分析して利用する手法を基礎から応用まで学びます。
- ◆コンピュータ科学専攻/PC、サーバ、IoT、スマホなどのコンピュータを扱うためのソフトウェア技術者を身につけるとともに、画像・映像・音声・テキスト・対話を処理するためのAIを駆使したメディア技術者を学びます。
- ◆機械システム専攻/強度と耐久性、環境や快適さなどを考慮した機械システムの技術と、人・モノ・お金・情報等が関わるシステムをよりよく構築させる方法について学びます。
- ◆電気電子専攻/電気電子・機械制御・情報処理を有機的に統合した充実のカリキュラムにより、社会・産業・情報基盤を支える理論と実践を学びます。
- ◆応用化学専攻/医薬・医薬品原料/ライフィノベーション、持続可能な社会を拓くグリーン/バイオベンチャーに貢献する人材育成を目標とし、ITを活用した化学の学際探究と社会への応用を学びます。

学生納付金の比較／成蹊大学(2022年度予定)と想定競合大学等(2020年度※1)

学 校 名	学部名(一部学科名)	総額	入学金	授業料等 合計 A+B	A:授業料	B:その他 ※2
青 山 学 院 大 学	理 工 学 部	1,894,000	200,000	1,694,000	1,181,000	513,000
中 央 大 学	理 工 学 部	1,838,000	240,000	1,598,000	1,175,700	422,300
法 政 大 学	理 工 学 部 ※航空操縦学専修を除く	1,811,000	240,000	1,571,000	1,172,000	399,000
芝 浦 工 業 大 学	全 学 部	1,796,880	280,000	1,516,880	1,199,000	317,880
成 蹊 大 学	理 工 学 部	1,725,000	200,000	1,525,000	1,060,000	465,000
工 学 院 大 学	先 進 工 学 部	1,701,160	250,000	1,451,160	1,000,000	451,160
工 学 院 大 学	工 情 報 学 部	1,681,160	250,000	1,431,160	1,000,000	431,160
総額平均額 (成蹊大学除く)		1,787,033	授業料等平均額 (成蹊大学除く)		1,543,700	

(※1)

①授業料等は、2020年度入学用の学費の実績。引用:「2021(令和3)年度用大学の真の実力 情報公開BOOK」旺文社ムック、2020年9月

②本学の金額は、2022年度入学者予定納付金を記載した。

(※2)「施設費」「教育充実費」「実験・実習費」「諸会費」といった「入学金」「授業料」以外の納付金。本学においては「施設費」「設備費」の合計。

東京の産業と雇用就業 2020



東京都産業労働局

第Ⅰ部

東京経済・雇用情勢の概況

8 雇用情勢

(1) 改善する完全失業率

雇用関係の代表的な指標である完全失業率は、「労働力人口」に占める「完全失業者」の割合を表します。完全失業者とは、15歳以上人口のうち、「仕事がなく調査週間に少しも仕事をしなかった（就業者ではない。）」、「仕事があればすぐ就くことができる」、「調査週間に、仕事を探す活動や事業を始める準備をしていた（過去の求職活動の結果を待っている場合を含む。）」の3つの条件を満たす者をいいます。

リーマン・ショック後に悪化していた雇用情勢は、近年では改善傾向にあり、2019年における東京の完全失業率は2.3%で、9年連続で改善しています。男女別にみると、完全失業者数では、男性の方が女性より多くなっています。（図1）

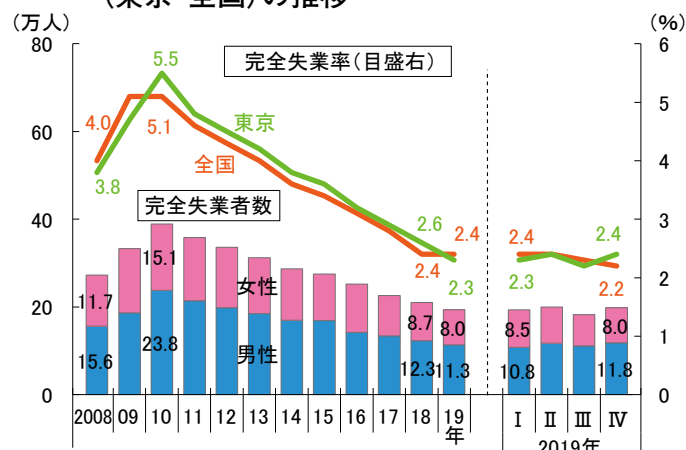
(2) 2年ぶりに下降した就職率

都内ハローワークを通じた就職者数は、近年減少傾向で推移しており、2019年は2018年より約1万1千人減少しました。内訳をみると、2009年以降は、非正社員の割合が全体の5割を超えており、2019年には約60%を占めています。一方、東京の就職率をみると、2019年は2年ぶりに下降し、25.4%となっています。（図2）

(3) 9年ぶりに下降した有効求人倍率

東京の有効求人、求職者数の推移をみると、有効求職者数は9年連続で減少しています。一方、有効求人数は増加傾向で推移していましたが、2018年以降2年連続で減少しています。東京の有効求人倍率は上昇が続いていましたが、2019年は9年ぶりに下降し、2.10倍となっています。（図3）

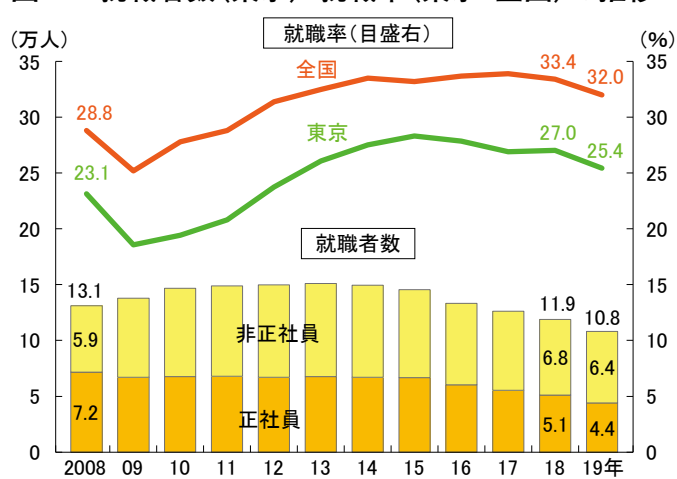
図1 男女別完全失業者数（東京）・完全失業率（東京・全国）の推移



注 全国の2011年の値は、補完推計値。

資料 総務省、東京都「労働力調査」

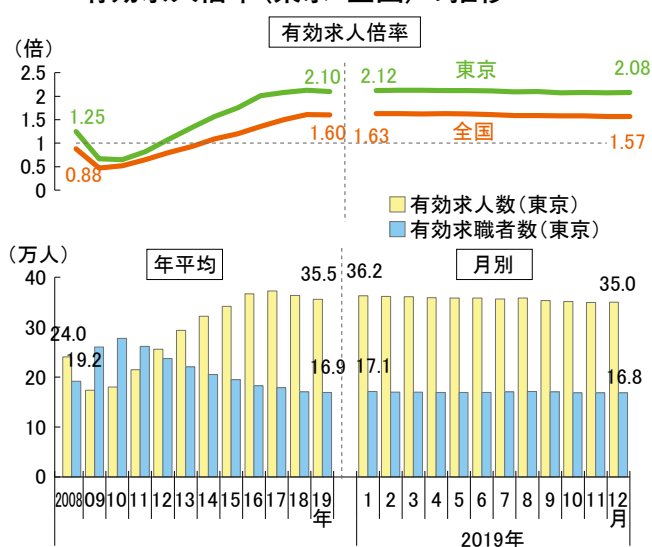
図2 就職者数（東京）・就職率（東京・全国）の推移



注 就職率＝就職者数／新規求職者数×100。

資料 東京労働局、厚生労働省「一般職業紹介状況（職業安定業務統計）」

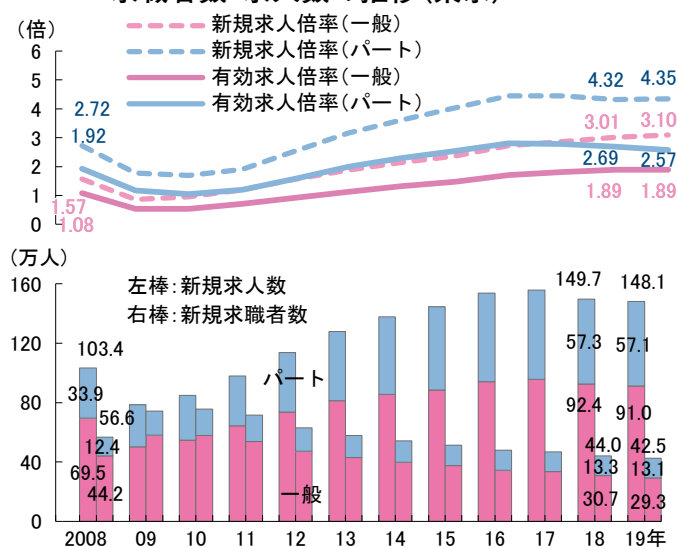
図3 有効求人数（東京）・有効求職者数（東京）・有効求人倍率（東京・全国）の推移



注 月の値は季節調整値。

資料 東京労働局、厚生労働省「職業安定業務統計」

図4 雇用形態別有効求人倍率・新規求人倍率・求職者数・求人数の推移（東京）



資料 東京労働局「一般職業紹介取扱状況」、「パートタイム職業紹介取扱状況」

注 労働力調査の基本集計及び詳細集計に関する留意点は、「本書のご利用にあたって」の5及び「＜コラム＞雇用情勢の動向を把握するための統計（労働力調査）」についてを参照。

第Ⅲ部

雇用就業編

第2章

就業者を取り巻く状況

1 若年者

(1) 若年者の雇用動向

東京における15歳から34歳までの若年就業者数は、近年横ばいで推移していましたが、2019年は4年連続の増加となり、「15～24歳」が72.9万人、「25～34歳」が162.6万人となっています。また、若年者人口に占める若年就業者の割合が緩やかな上昇傾向であるのに対し、就業者全体に占める若年就業者の割合は近年横ばいで推移しています。(図1)

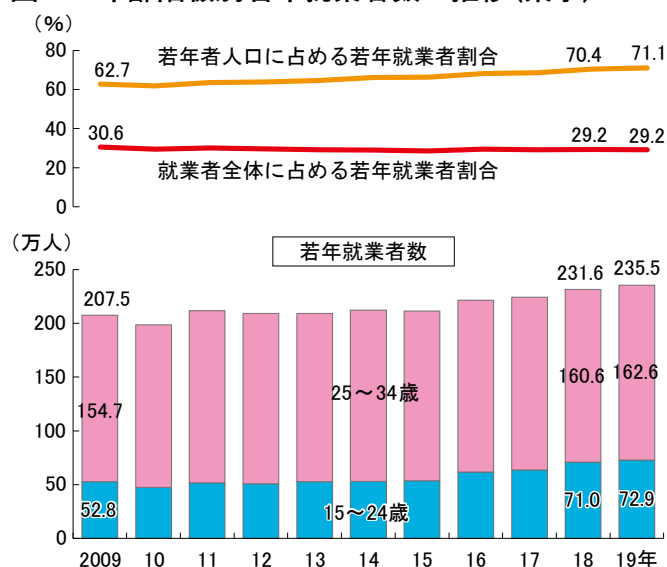
若年者の有効求人倍率は、2010年以降いずれの年齢階級も上昇を続けています。中でも、「20～24歳」は「全体」を上回る値が続いており、その差は年々大きくなっています。(図2)

若年者の完全失業率は、いずれの年齢階級も「全体」を上回って推移しています。2019年は「15～24歳」が3.4%で前年より0.3ポイント上昇、「25～34歳」は3.0%で前年より0.5ポイント低下しました。(図3)

(2) 新規学卒者の就職動向

東京における大学卒業者の就職状況をみると、大学卒業者数は緩やかな増加傾向にあります。就職者数は9年連続で増加しており、卒業者全体に占める就職者の割合も上昇傾向となっています。(図4)

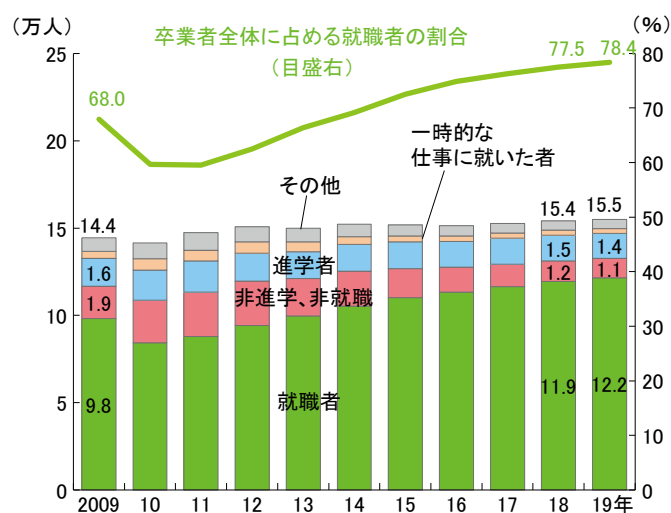
図1 年齢階級別若年就業者数の推移(東京)



注 15～34歳を若年者とした。2011年及び2016年の数値については、基準人口の切替えに伴う変動を考慮し、総務省統計局が適宜改訂した数値を用いている。

資料 東京都「労働力調査」

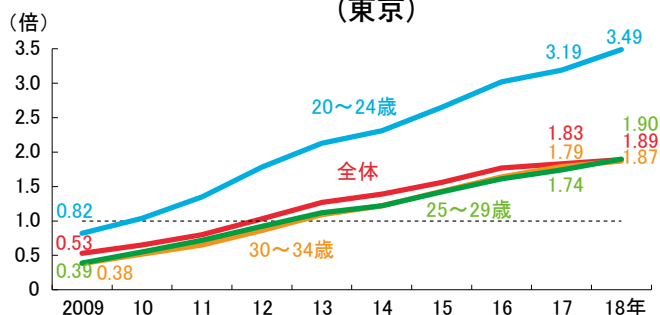
図4 進路別大学卒業者数の推移(東京)



注 各年3月卒。「一時的な仕事に就いた者」とは、臨時的な収入を目的とした仕事に就いた者。

資料 文部科学省「学校基本調査」

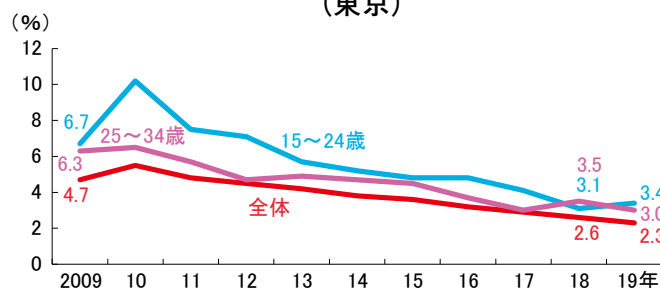
図2 年齢階級別若年者の有効求人倍率の推移(東京)



注 各年10月現在。20～34歳を若年者とした。全体は15歳以上のすべての年齢階級の計。

資料 東京労働局「職業安定業務年報」

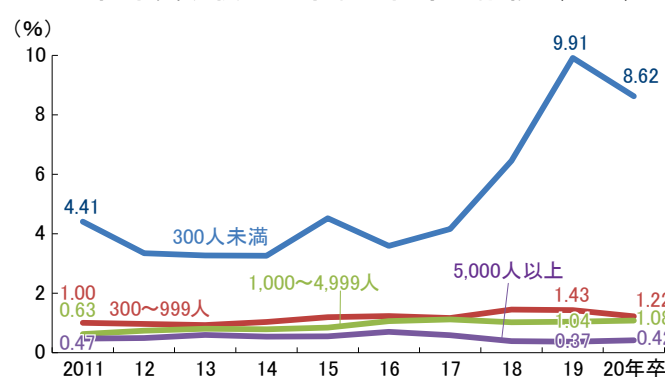
図3 年齢階級別若年者の完全失業率の推移(東京)



注 15～34歳を若年者とした。全体は15歳以上すべての年齢階級の計。

資料 東京都「東京の労働力」

図5 従業員規模別大卒求人倍率の推移(全国)



注 各年3月卒。民間企業への求人倍率。

資料 リクルートワークス研究所「大卒求人倍率調査」

東京の産業と雇用就業 2020

令和2年10月発行

登録番号 (2) 53

編集・発行

東京都産業労働局総務部企画計理課

〒163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話 03-5320-4638

デザイン・印刷

社会福祉法人 東京コロニー 東京都大田福祉工場



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



古紙パルプ配合率80%再生紙を使用しています

成蹊大学
「理工学部 理工学科」(仮称)
設置に関するニーズ調査
結果報告書
【企業対象調査】

令和3年2月
株式会社 進研アド
51

1. 調査目的

2022年4月開設予定の成蹊大学「理工学部 理工学科」新設構想に関して、企業のニーズを把握する。

2. 調査概要

		企業対象調査
調査対象		企業の採用担当者
調査エリア (発送エリア)		北海道、青森県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、福岡県、大分県、宮崎県、沖縄県
調査方法		郵送調査
調査対象数	依頼数	2,035社
	回収数(回収率)	496社(24.4%)
調査時期		2020年11月11日(水)～2020年12月15日(火)
調査実施機関		株式会社 進研アド

3. 調査項目

企業対象調査
・ 人事採用への関与度 ・ 本社所在地 ・ 業種 ・ 従業員数 ・ 正規社員の平均採用人数 ・ 本年度の採用予定数 ・ 採用したい学問分野 ・ 成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度 ・ 成蹊大学「理工学部 理工学科」の社会的必要性 ・ 成蹊大学「理工学部 理工学科」卒業生に対する採用意向 ・ 成蹊大学「理工学部 理工学科」卒業生の毎年の採用想定人数

企業対象 調査結果まとめ



回答企業(回答者)の属性

※本調査は、成蹊大学「理工学部 理工学科」に対する人材需要を確認するための調査として設計。成蹊大学「理工学部 理工学科」の卒業生就職先として想定される企業の人事関連業務に携わっている人を対象に調査を実施し、496社から回答を得た。

- 回答者の人事採用への関与度を聞いたところ、「採用の決裁権があり、選考にかかわっている」人は15.1%、「採用の決裁権はないが、選考にかかわっている」人が79.4%と、採用や選考にかかわる人事担当者からの意見を聴取できていると考えられる。
- 回答企業の本社所在地は、成蹊大学の所在地である「東京都」が64.5%を占め、最も多い。次いで「神奈川県」が9.3%、「大阪府」が5.2%である。
- 回答企業の業種としては「製造業」が50.0%で最も多い。次いで「卸売・小売業」が11.9%、「情報通信業」が11.5%である。
- 回答企業の従業員数(正規社員)は、「100名～500名未満」が33.1%で最も多い。次いで「1,000名～5,000名未満」が30.6%、「500名～1,000名未満」が25.0%である。

回答企業の採用状況(過去3か年)／本年度の採用予定数／採用したい学問分野

- 回答企業の平均的な正規社員の採用人数は、「10名～20名未満」が26.2%で最も多い。次いで「5名～10名未満」が14.9%、「20名～30名未満」が13.3%である。毎年、正規社員を採用している企業がほとんどである。
- 回答企業の本年度の採用予定数は、「昨年度並み」が69.6%で最も多い。次いで「減らす」が10.9%である。また、「増やす」は8.5%であり、回答企業の多くで昨年と同等の採用が予定されている様子である。
- 回答企業の採用したい学問分野を複数回答で聴取したところ、「理工学部 理工学科」の学びに関連のある「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」の割合が65.7%で最も高い。次いで「情報科学」が44.0%、「理学(数学、物理学、化学など)」が40.7%である。

成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度

- 成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度(※)は、すべての項目で8割を超える。
- 最も魅力度が高いのは、「特色⑤数学・物理・化学・生物といった理工学の基礎力だけでなく、読解力、文章作成力、プレゼンテーションスキル、コミュニケーション力といった社会人基礎力も鍛えます。」(98.6%)であり、「とても魅力を感じる」と回答した人の割合も76.8%で最も高い。

次に魅力度が高いのは、「特色③「連携プロジェクト」科目では、専攻間の垣根を越えて学生同士が協働し、企業や地域における課題をチームで解決するための実践力を磨きます。」「特色④すべての専攻で確かなICT活用力を身につけます。各専攻の専門知識とICTを高度に駆使して、実社会における課題を解決できる力を養います。」(ともに97.0%)、さらに「特色①1学科の中に5つの専攻(データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化学)を設置。所属専攻以外の科目も履修でき、融合分野も学べます。」(96.8%)、「特色②意識の高い学生に向けて、時代のニーズを捉えた専攻融合型の「特別プログラム」を設置。「生命科学プログラム」「経営科学プログラム」「教育手法プログラム」を構想しています。」(88.5%)と続く。

※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した企業の合計値

成蹊大学「理工学部 理工学科」の社会的必要性

- 成蹊大学「理工学部 理工学科」のうち、「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」のいずれかにあたる「理工学部 理工学科(各専攻いずれか)」の社会的必要性についての評価は、99.4%(496社中、**493社**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科であると評価していることがうかがえる。

成蹊大学「理工学部 理工学科」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」のいずれかにあたる成蹊大学「理工学部 理工学科(各専攻いずれか)」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、97.2%(496社中、**482社**)である。
- 「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」のいずれかにあたる成蹊大学「理工学部 理工学科(各専攻いずれか)」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた482社へ成蹊大学「理工学部 理工学科(各専攻いずれか)」の卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**2,988名**で、学科で予定している入学定員数420名を7倍以上上回る。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- 「関東」エリアに本社がある企業からの採用意向は、97.2%(395社中、**384社**)。採用想定人数の合計は**2,433名**で、学科で予定している入学定員数を5倍以上上回る。「東京都」に本社がある企業からの採用意向は、96.9%(320社中、**310社**)。採用想定人数の合計は**1,993名**で、学科で予定している入学定員数を4倍以上上回る。

◇業種別

- ・「製造業」の企業からの採用意向は、99.6% (248社中、**247社**)。採用想定人数の合計は**1,576名**で、学科で予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇採用したい学問分野別

- ・理工学部 理工学科の学びに関連のある「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、99.7% (326社中、**325社**)。採用想定人数の合計は**2,201名**で、学科で予定している入学定員数を5倍以上上回る。「情報科学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、100.0% (218社中、**218社**)。採用想定人数の合計は**1,631名**で、学科で予定している入学定員数を3倍以上上回る。さらに「理学(数学、物理学、化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、100.0% (202社中、**202社**)。採用想定人数の合計は**1,473名**で、学科で予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも9割を超えている。採用想定人数の合計もすべて2,600名以上と、学科で予定している入学定員数を6倍以上上回る。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- ・「理工学科」が社会的に必要なだと思うと回答した企業からの採用意向は、97.8% (493社中、**482社**)。採用想定人数の合計は**2,988名**で、学科で予定している入学定員数を7倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の社会的必要性

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の社会的必要性についての評価は、95.4% (496社中、**473社**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科・専攻であると評価していることがうかがえる。

成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、70.0% (496社中、**347社**)である。
- 成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた347社へ成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**433名**で、予定している入学定員数70名を6倍以上上回る。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

< 属性別 >

◇本社所在地別

- 「関東」エリアに本社がある企業からの採用意向は、70.9% (395社中、**280社**)。採用想定人数の合計は**360名**で、予定している入学定員数を5倍以上上回る。
- 「東京都」に本社がある企業からの採用意向は、73.1% (320社中、**234社**)。採用想定人数の合計は**299名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回る。

◇業種別

- ・「製造業」の企業からの採用意向は、67.3% (248社中、**167社**)。採用想定人数の合計は**195名**で、予定している入学定員数を2倍以上上回る。「情報通信業」の企業からの採用意向は、91.2% (57社中、**52社**)。採用想定人数の合計は**84名**で、予定している入学定員数を上回る。

◇採用したい学問分野別

- ・理工学部 理工学科 データ数理専攻の学びに関連のある。「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、64.4% (326社中、**210社**)。採用想定人数の合計は**284名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回る。「情報科学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、79.8% (218社中、**174社**)。採用想定人数の合計は**249名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。「理学(数学、物理学、化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、75.2% (202社中、**152社**)。採用想定人数の合計は**214名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも7割を超えている。採用想定人数の合計もすべて400名以上と、予定している入学定員数を5倍以上上回る。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- ・「データ数理専攻」が社会的に必要なだと思うと回答した企業からの採用意向は、72.9% (473社中、**345社**)。採用想定人数の合計は**431名**で、予定している入学定員数を6倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の社会的必要性

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の社会的必要性についての評価は、96.8% (496社中、**480社**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科・専攻であると評価していることがうかがえる。

成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、79.0% (496社中、**392社**)である。
- 成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた392社へ成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**519名**で、予定している入学定員数90名を5倍以上上回る。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- 「関東」エリアに本社がある企業からの採用意向は、79.0% (395社中、**312社**)。採用想定人数の合計は**418名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回る。「東京都」に本社がある企業からの採用意向は、80.3% (320社中、**257社**)。採用想定人数の合計は**345名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇業種別

- ・「製造業」の企業からの採用意向は、77.4% (248社中、**192社**)。採用想定人数の合計は**234名**で、予定している入学定員数を2倍以上上回る。「情報通信業」の企業からの採用意向は、96.5% (57社中、**55社**)。採用想定人数の合計は**97名**で、予定している入学定員数を上回る。

◇採用したい学問分野別

- ・理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻の学びに関連のある「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、75.5% (326社中、**246社**)。採用想定人数の合計は**351名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。「情報科学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、91.3% (218社中、**199社**)。採用想定人数の合計は**310名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。「理学(数学、物理学、化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、84.2% (202社中、**170社**)。採用想定人数の合計は**253名**で、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも7割を超えている。採用想定人数の合計もすべて400名以上と、予定している入学定員数を4倍以上上回る。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- ・「コンピュータ科学専攻」が社会的に必要なだと思うと回答した企業からの採用意向は、81.0% (480社中、**389社**)。採用想定人数の合計は**516名**で、予定している入学定員数を5倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」の社会的必要性

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」の社会的必要性についての評価は、98.0% (496社中、**486社**) が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科・専攻であると評価していることがうかがえる。

成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、91.1% (496社中、**452社**) である。
- 成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた452社へ成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**791名**で、予定している入学定員数90名を8倍以上上回る。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

<属性別>

◇本社所在地別

- 「関東」エリアに本社がある企業からの採用意向は、90.6% (395社中、**358社**)。採用想定人数の合計は**641名**で、予定している入学定員数を7倍以上上回る。
- 「東京都」に本社がある企業からの採用意向は、90.0% (320社中、**288社**)。採用想定人数の合計は**519名**で、予定している入学定員数を5倍以上上回る。

◇業種別

- ・「製造業」の企業からの採用意向は、96.4% (248社中、**239社**)。採用想定人数の合計は**459名**で、予定している入学定員数を5倍以上上回っている。「建設業」の企業からの採用意向は、89.3% (56社中、**50社**)。採用想定人数の合計は**97名**で、予定している入学定員数を上回る。

◇採用したい学問分野別

- ・理工学部 理工学科 機械システム専攻の学びに関連のある「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、94.5% (326社中、**308社**)。採用想定人数の合計は**620名**で、予定している入学定員数を6倍以上上回る。「情報科学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、95.4% (218社中、**208社**)。採用想定人数の合計は**433名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回る。「理学(数学、物理学、化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、95.5% (202社中、**193社**)。採用想定人数の合計は**383名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも9割を超えている。採用想定人数の合計もすべて600名以上と、予定している入学定員数を6倍以上上回る。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- ・「機械システム専攻」が社会的に必要なだと思うと回答した企業からの採用意向は、92.2% (486社中、**448社**)。採用想定人数の合計は**787名**で、予定している入学定員数を8倍以上上回る。

成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」の社会的必要性

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」の社会的必要性についての評価は、97.6% (496社中、**484社**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科・専攻であると評価していることがうかがえる。

成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、89.9% (496社中、**446社**)である。
- 成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた446社へ成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**786名**で、予定している入学定員数70名を10倍以上上回る。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

< 属性別 >

◇本社所在地別

- 「関東」エリアに本社がある企業からの採用意向は、89.4% (395社中、**353社**)。採用想定人数の合計は**638名**で、予定している入学定員数を9倍以上上回る。「東京都」に本社がある企業からの採用意向は、88.8% (320社中、**284社**)。採用想定人数の合計は**520名**で、予定している入学定員数を7倍以上上回る。

◇業種別

- ・「製造業」の企業からの採用意向は、94.4% (248社中、**234社**)。採用想定人数の合計は**430名**で、予定している入学定員数を6倍以上上回る。「情報通信業」の企業からの採用意向は、89.5% (57社中、**51社**)で、採用想定人数の合計は**72名**、「建設業」の企業からの採用意向は、96.4% (56社中、**54社**)で、採用想定人数の合計は**121名**と、ともに予定している入学定員数を上回る。

◇採用したい学問分野別

- ・理工学部 理工学科 電気電子専攻の学びに関連のある「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、93.6% (326社中、**305社**)。採用想定人数の合計は**623名**と、予定している入学定員数を8倍以上上回る。「情報科学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、95.0% (218社中、**207社**)。採用想定人数の合計は**411名**で、予定している入学定員数を5倍以上上回る。「理学(数学、物理学、化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、95.0% (202社中、**192社**)。採用想定人数の合計は**363名**で、予定している入学定員数を5倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも9割を超えている。採用想定人数の合計もすべて600名以上と、予定している入学定員数を8倍以上上回る。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- ・「電気電子専攻」が社会的に必要だと思うと回答した企業からの採用意向は、91.5% (484社中、**443社**)。採用想定人数の合計は**784名**で、予定している入学定員数を10倍以上上回っている。

成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」の社会的必要性

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」の社会的必要性についての評価は、92.9% (496社中、**461社**)が「必要だと思う」と回答しており、多くの企業がこれからの社会にとって必要な学部・学科・専攻であると評価していることがうかがえる。

成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」卒業生に対する採用意向・毎年の採用想定人数

- 成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」卒業生を「採用したいと思う」と答えた企業は、67.5% (496社中、**335社**)である。
- 成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」の卒業生を「採用したいと思う」と答えた335社へ成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」卒業生の採用を毎年何名程度想定しているか聞いたところ、採用想定人数の合計は**459名**で、予定している入学定員数80名を5倍以上上回る。このことから、安定した人材需要があることがうかがえる。

< 属性別 >

◇本社所在地別

- 「関東」エリアに本社がある企業からの採用意向は、68.1% (395社中、**269社**)。採用想定人数の合計は**376名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回る。「東京都」に本社がある企業からの採用意向は、69.1% (320社中、**221社**)。採用想定人数の合計は**310名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回っている。

◇業種別

- ・「製造業」の企業からの採用意向は、69.8% (248社中、**173社**)。採用想定人数の合計は**258名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。

◇採用したい学問分野別

- ・理工学部 理工学科 応用化学専攻の学びに関連のある「工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、64.7% (326社中、**211社**)。採用想定人数の合計は**323名**で、予定している入学定員数を4倍以上上回る。「理学(数学、物理学、化学など)」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、79.7% (202社中、**161社**)。採用想定人数の合計は**260名**で、予定している入学定員数を3倍以上上回る。「情報科学」を学んだ学生を採用したいと回答した企業からの採用意向は、67.9% (218社中、**148社**)。採用想定人数の合計は**228名**で、予定している入学定員数を2倍以上上回る。

◇成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度別

- ・成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に魅力を感じている企業の採用意向は、いずれの特色でも6割を超えている。採用想定人数の合計もすべて400人以上と、予定している入学定員数を5倍以上上回る。

◇社会的必要性別【必要だと思う】

- ・「応用化学専攻」が社会的に必要だと思うと回答した企業からの採用意向は、70.9% (461社中、**327社**)。採用想定人数の合計は**450名**で、予定している入学定員数を6倍以上上回る。

企業対象 調査結果

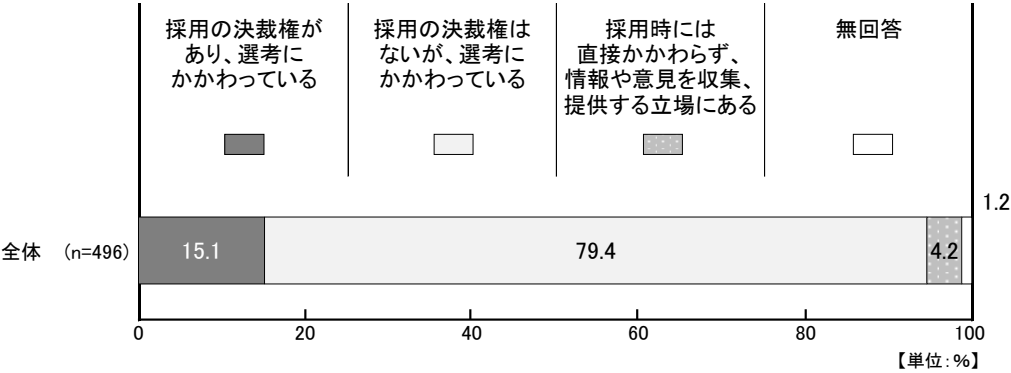


回答企業(回答者)の属性(人事採用への関与度／本社所在地)

資料8

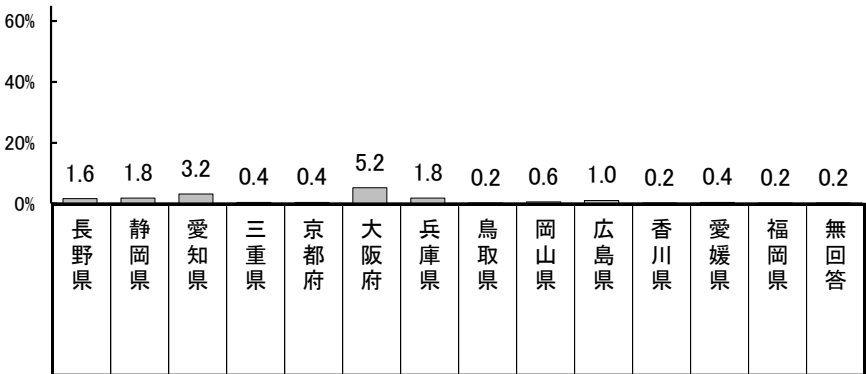
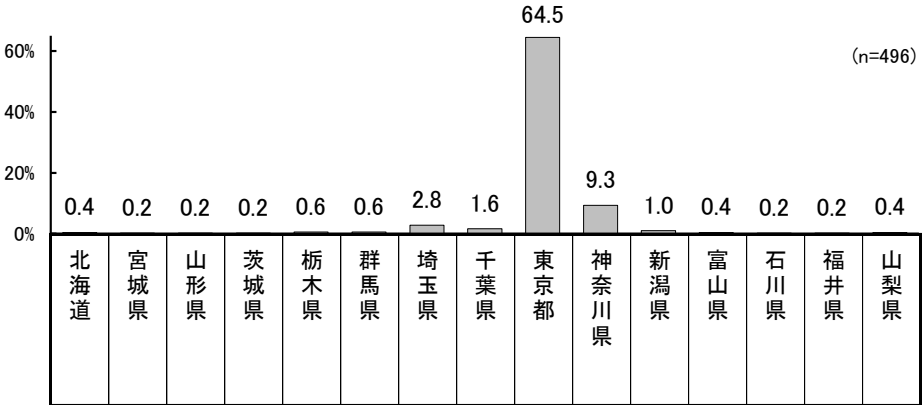
■人事採用への関与度

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。(あてはまる番号1つに○)



■本社所在地

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

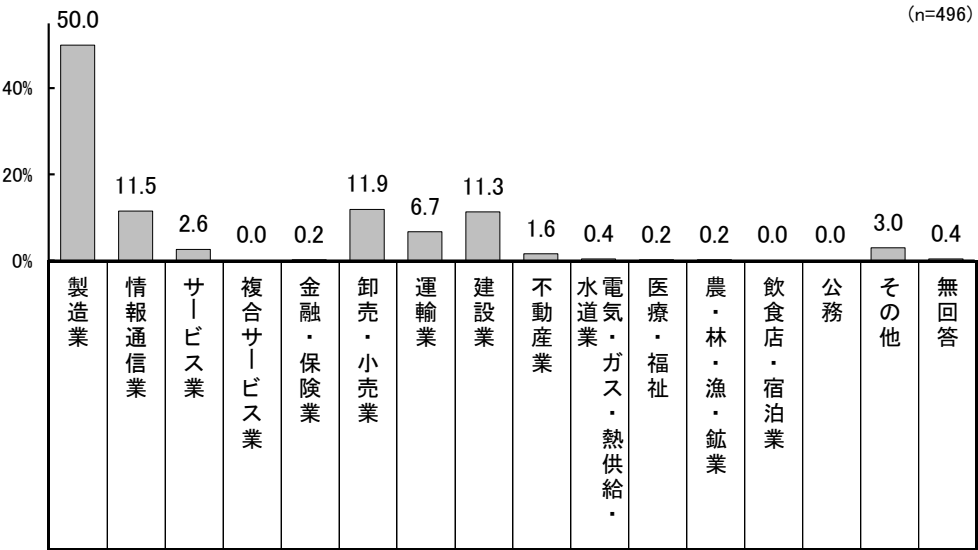


回答企業(回答者)の属性(業種／従業員数)

資料8

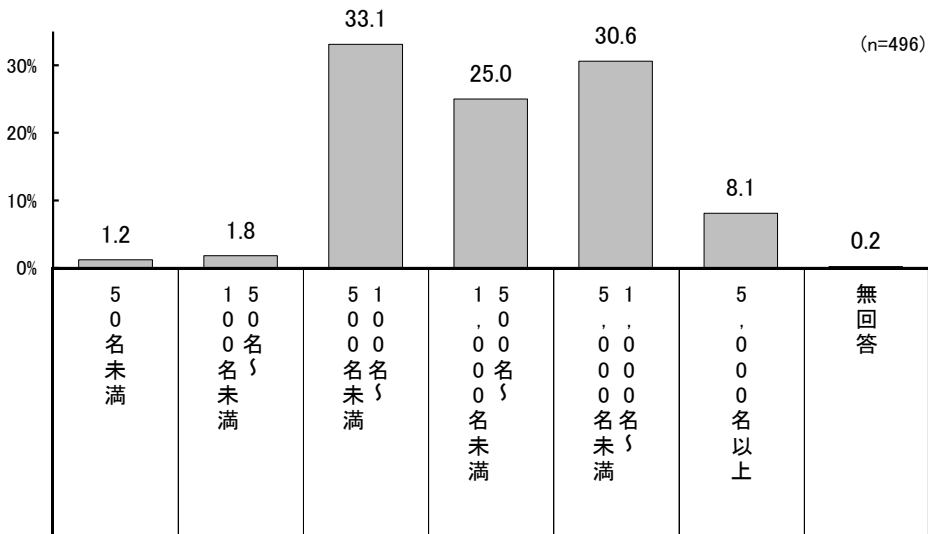
業種

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)



従業員数

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

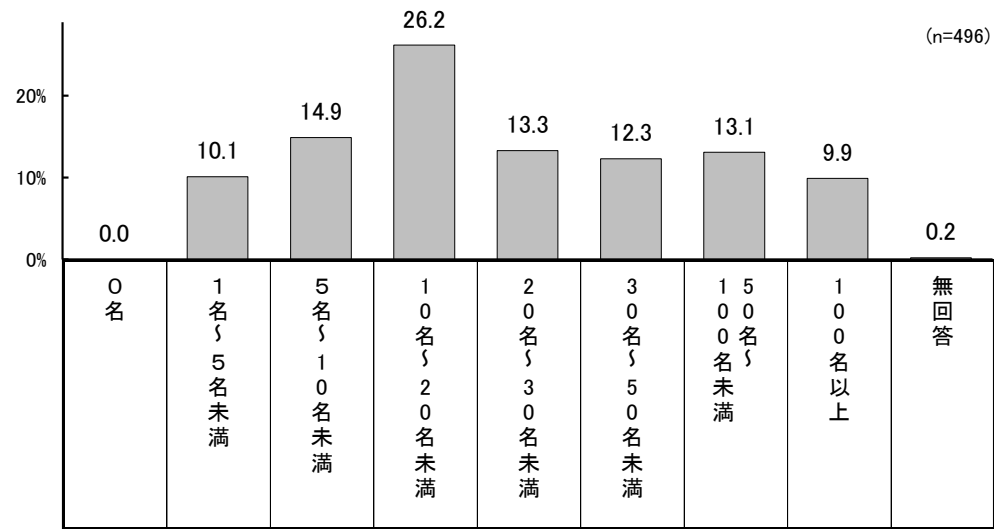


正規社員の平均採用人数／本年度の採用予定数

資料8

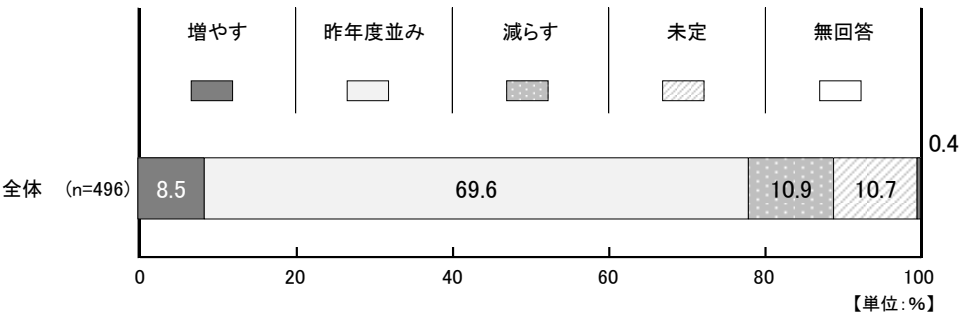
■ 正規社員の平均採用人数

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。(あてはまる番号1つに○)



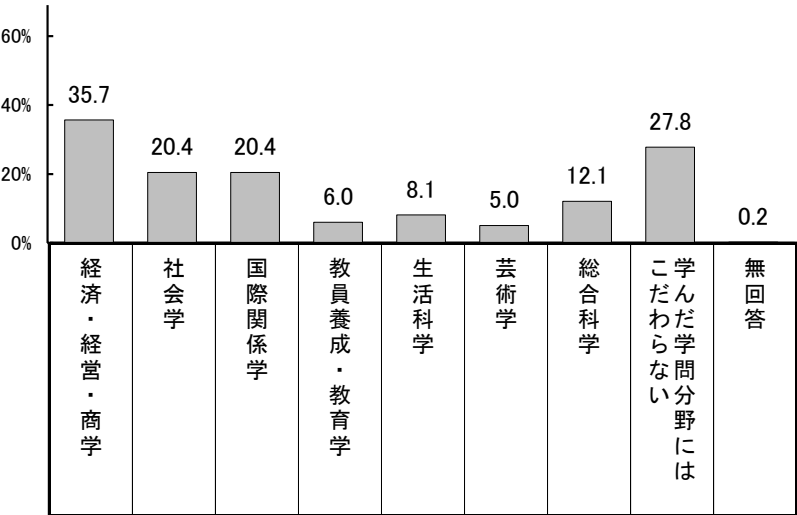
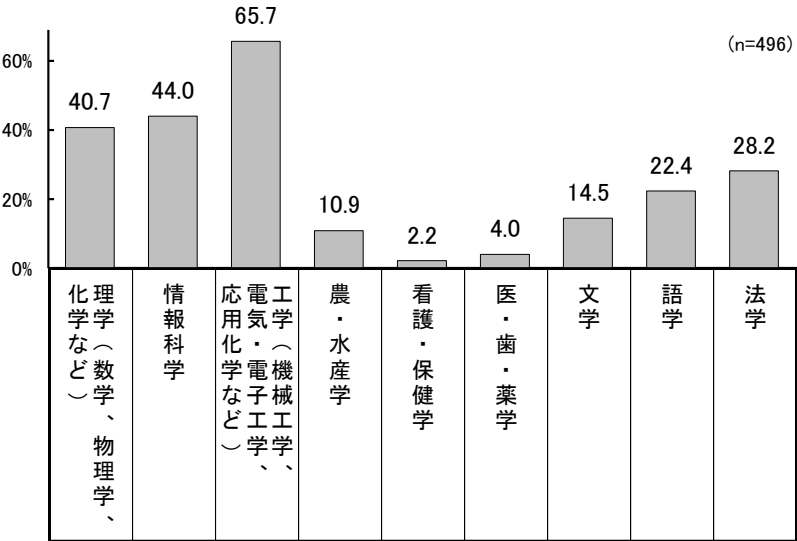
■ 本年度の採用予定数

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)



採用したい学問分野

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。
(あてはまる番号すべてに○)

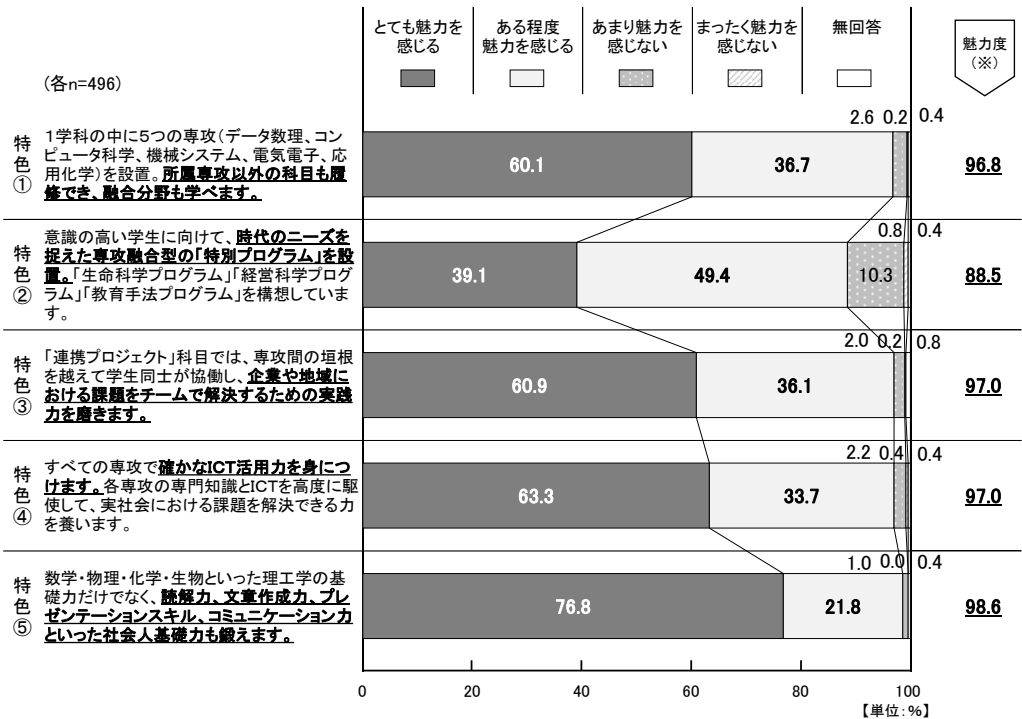


成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する
魅力度

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科」の特色に対する魅力度

Q8. 成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれどの程度魅力に感じますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



※魅力度＝「とても魅力を感じる」「ある程度魅力を感じる」と回答した人の合計値

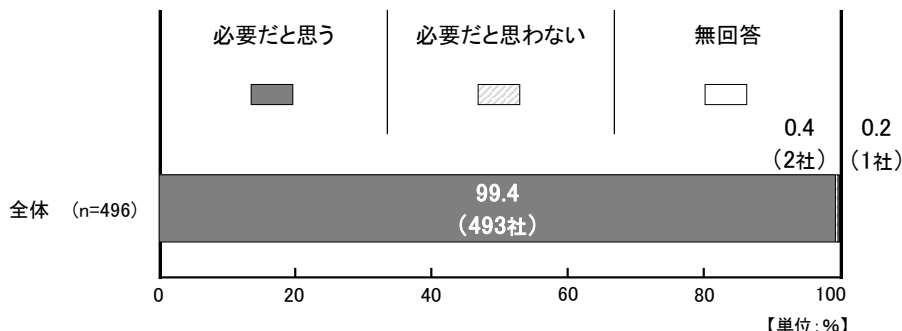
※魅力度は、人数をもとに%を算出し、小数点第二位を四捨五入しているため、「とても魅力を感じる」と「ある程度魅力を感じる」の合計値と必ずしも一致しない

成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)の社会的必要性 ／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

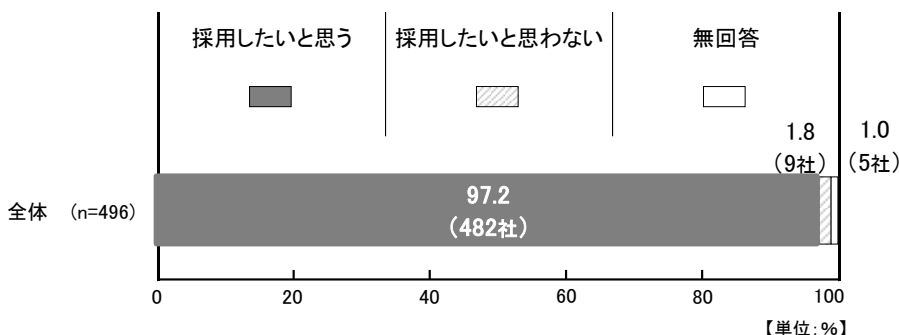


※「必要だと思う」=「理工学部 理工学科」内の「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」の5専攻のうち、いずれかの専攻を「必要だと思う」と回答した企業の数

※「必要だと思わない」=「理工学部 理工学科」内の「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」の5専攻全てで「必要だと思わない」と回答した企業の数

■成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



※「採用したいと思う」=「理工学部 理工学科」内の「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」の5専攻のうち、いずれかの専攻で「採用したいと思う」と回答した企業の数

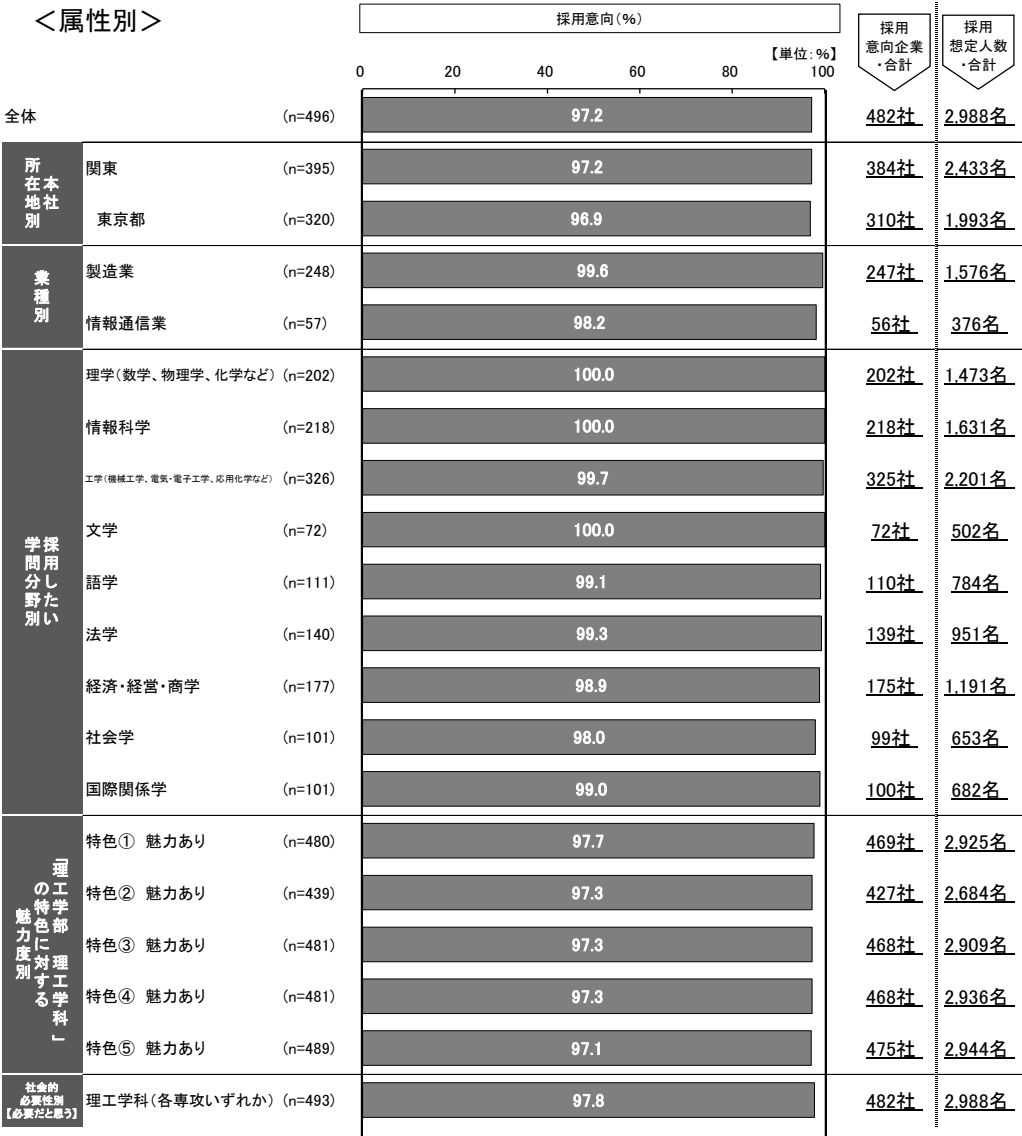
※「採用したいと思わない」=「理工学部 理工学科」内の「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」の5専攻全てで「採用したいと思わない」と回答した企業の数

成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)卒業生に
対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科」(各専攻いずれか)卒業生に対する採用意向／
採用想定人数＜属性別＞

※成蹊大学「理工学部 理工学科」の「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械シ
ステム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」のいずれかの専攻に対して、Q10で「採用
したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、
Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



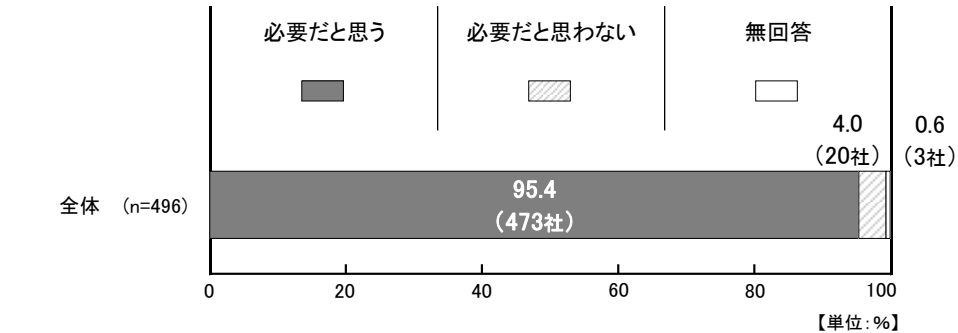
※「理工学部 理工学科」内の「データ数理専攻」「コンピュータ科学専攻」「機械システム専攻」「電気電子専攻」「応用化学専攻」の5つの専攻それぞれで、
「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名を代入し合計値を算出。各専攻の合計値を足した数値を採用想定人数・合計とする

成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

資料8

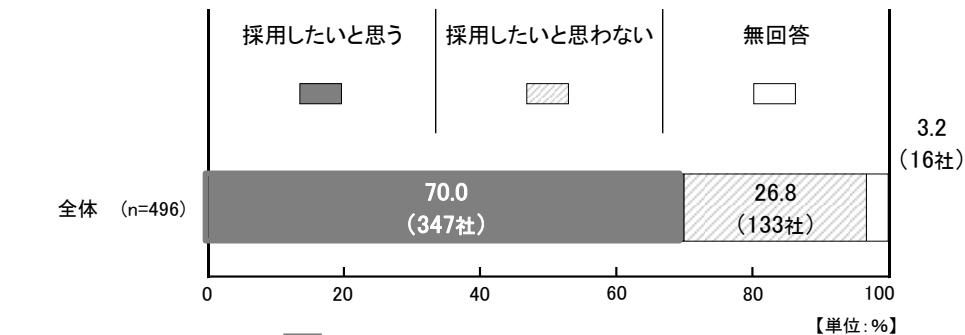
成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻（すべて仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体（ご回答者）では、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻（すべて仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）



「採用したいと思う」と答えた347社のみ抽出

成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名以上	⇒	毎年の採用想定人数を 示した企業数・計 および採用想定人数・ 計（※）
全体	347	%	70.6%	13.3%	3.2%	0.6%	2.0%	0.6%	
		企業数	245	46	11	2	7	2	
		名	245	92	33	8	35	20	
									313
									433

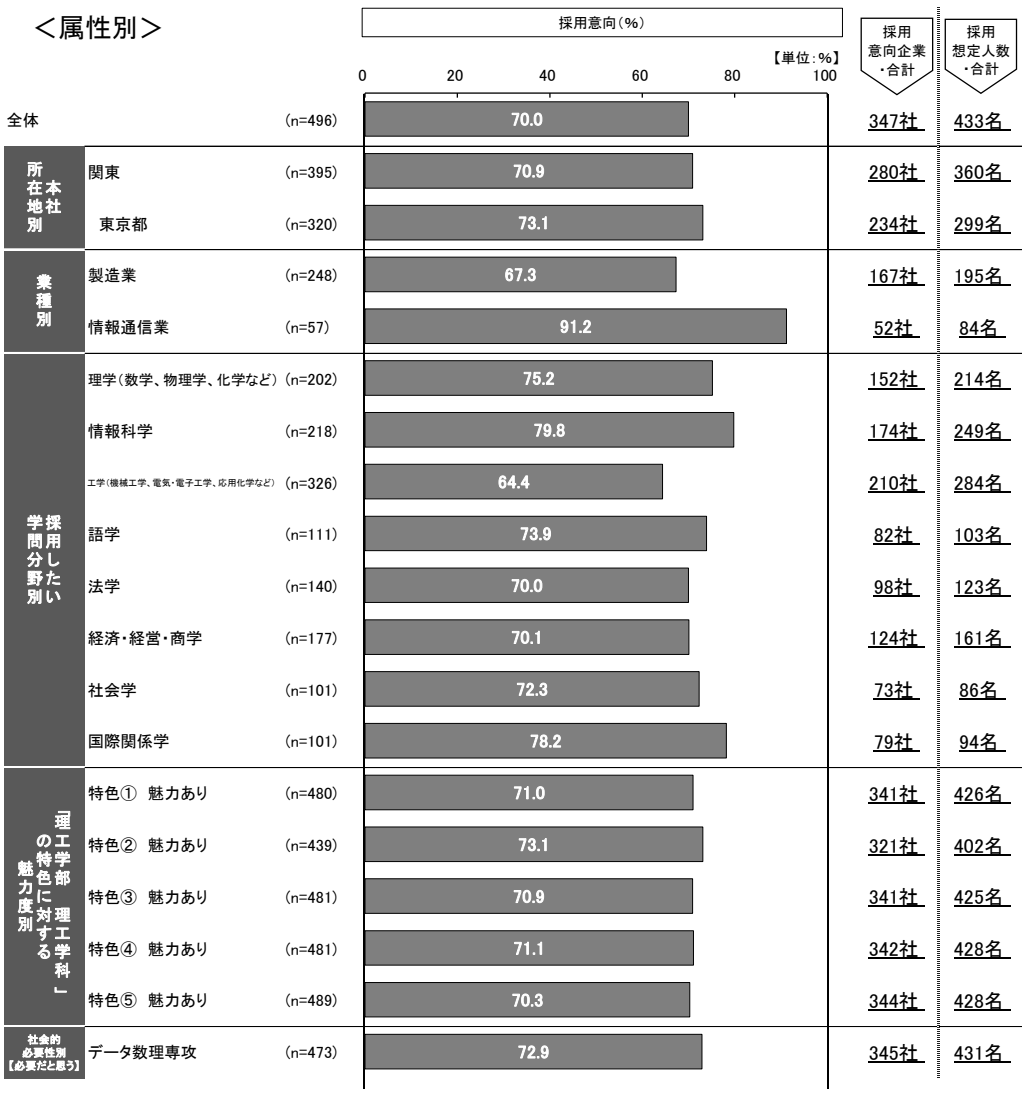
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」
卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※成蹊大学「理工学部 理工学科 データ数理専攻」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



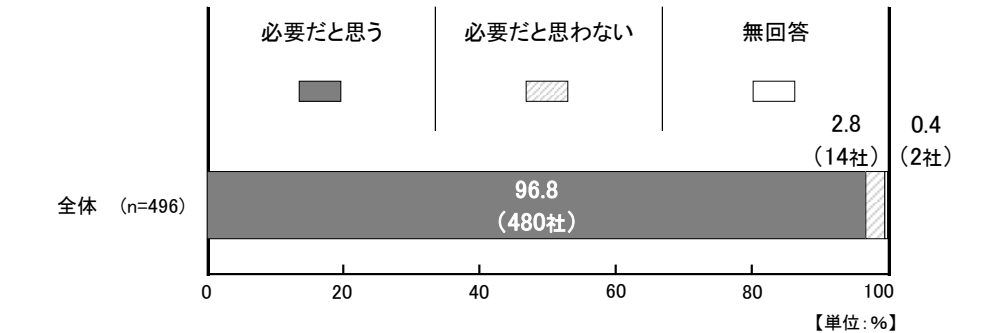
※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

資料8

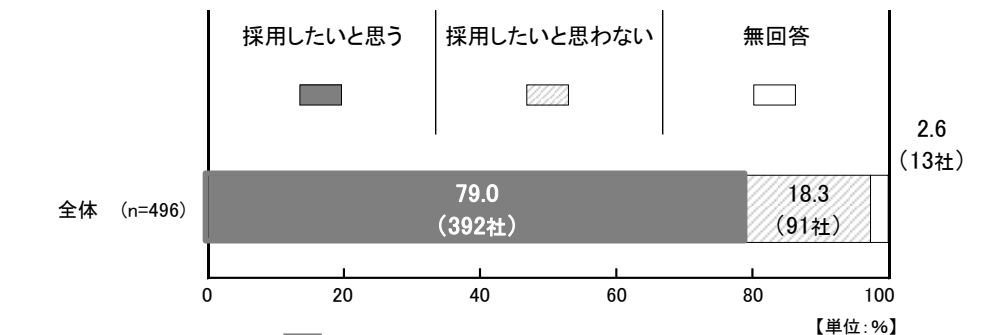
成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた392社のみ抽出

成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名							計
		1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名以上	
全体	392	%	69.6%	13.8%	3.8%	0.5%	2.8%	0.8%	⇒ 358 519
		企業数	273	54	15	2	11	3	
		名	273	108	45	8	55	30	

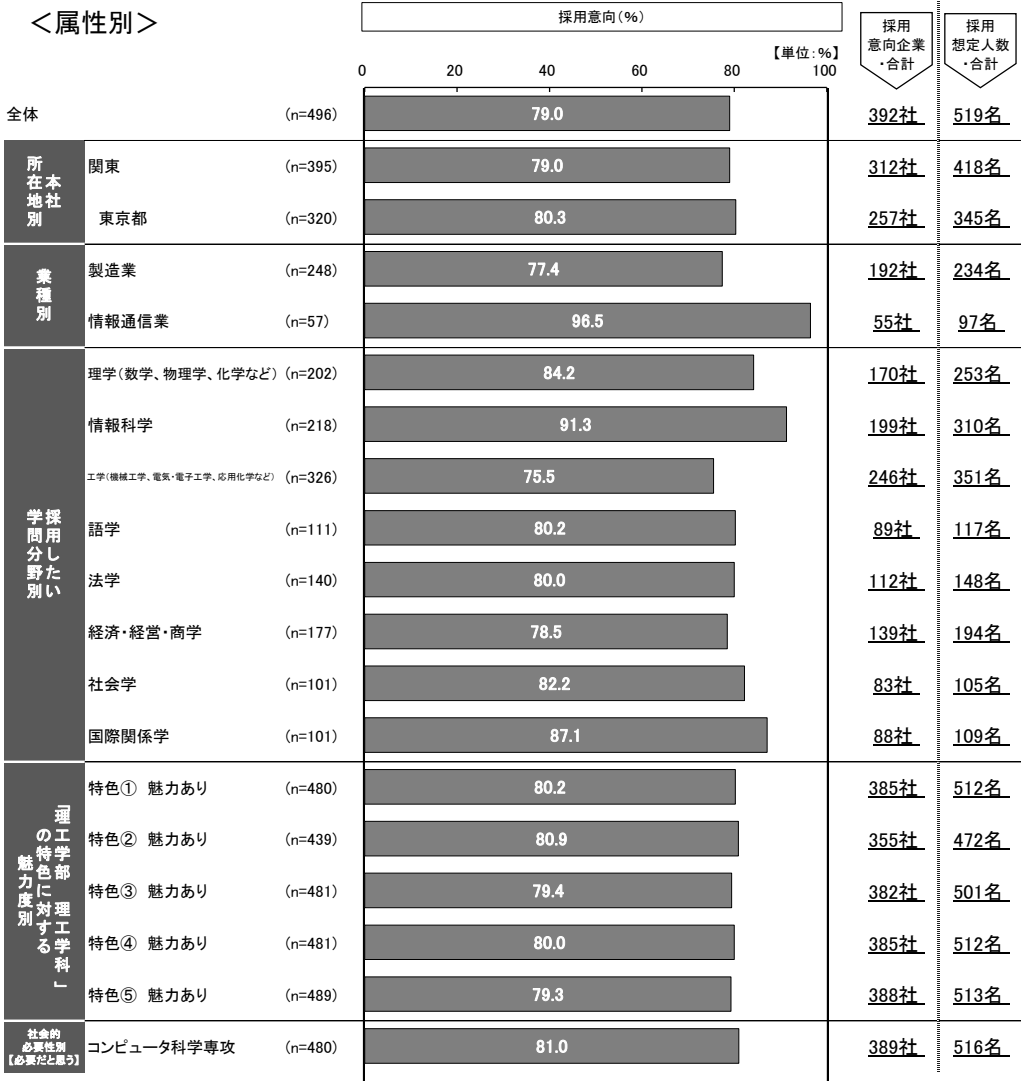
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」 卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」卒業生に対する 採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※成蹊大学「理工学部 理工学科 コンピュータ科学専攻」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



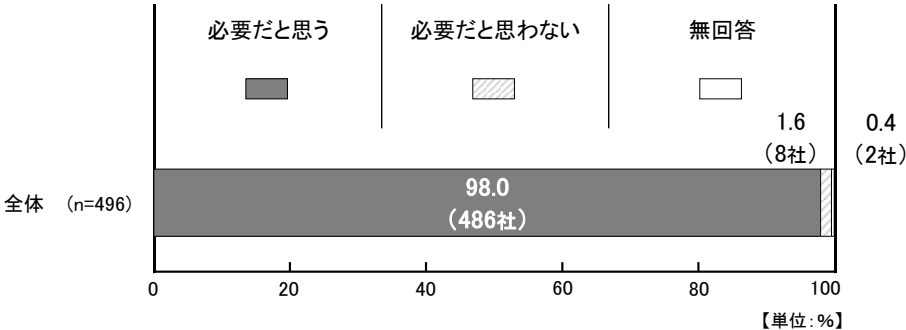
※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

資料8

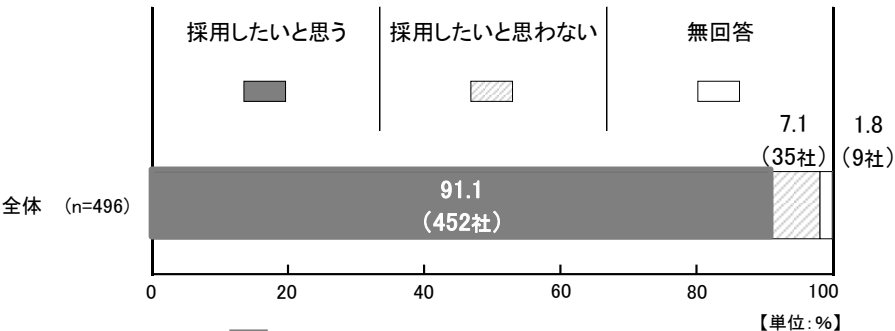
成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた452社のみ抽出

成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名							計
		1名	2名	3名	4名	5名	5名以上	10名以上	
全体	452	%	54.2%	21.2%	9.1%	0.9%	5.5%	2.0%	⇒ 420 791
		企業数	245	96	41	4	25	9	
		名	245	192	123	16	125	90	

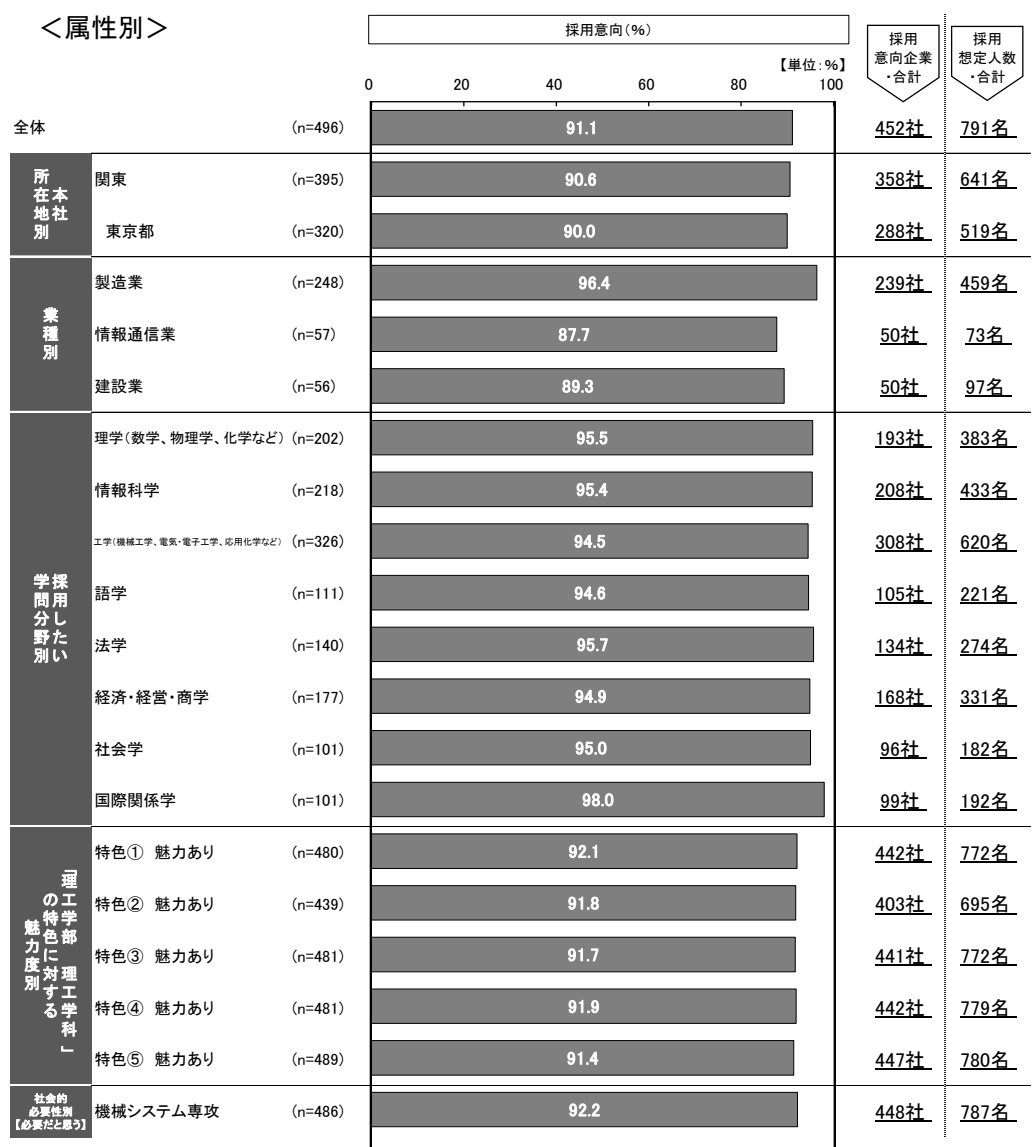
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」
卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※成蹊大学「理工学部 理工学科 機械システム専攻」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



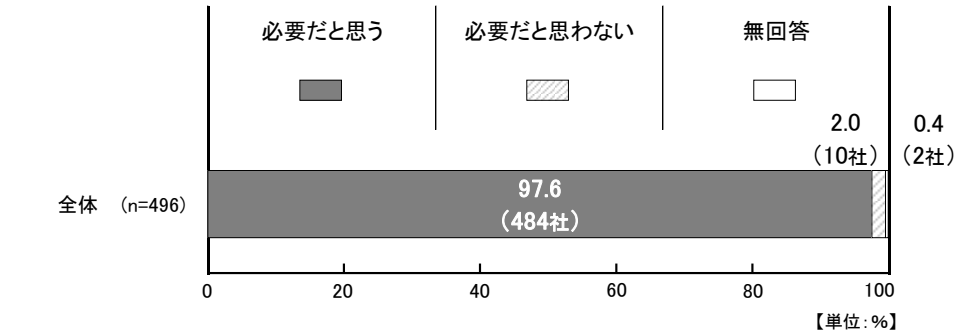
※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

資料8

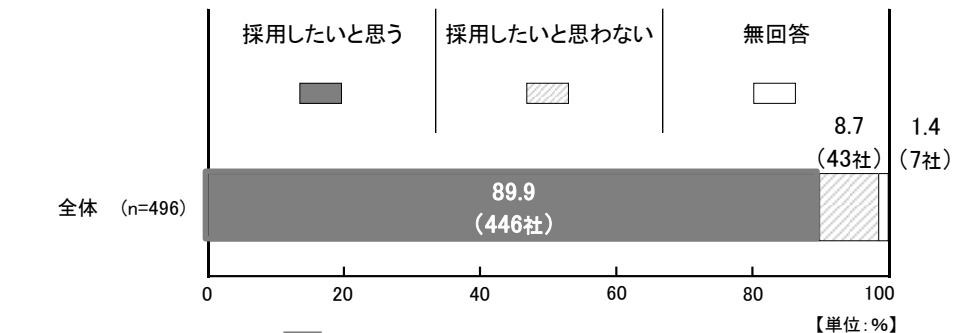
成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた446社のみ抽出

成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名	2名	3名	4名	5名 ～ 9名	10名 以上	計
全体	446	55.6%	19.1%	9.2%	1.1%	5.6%	2.2%	414
		企業数	248	85	41	5	25	786
		名	248	170	123	20	125	100

⇒

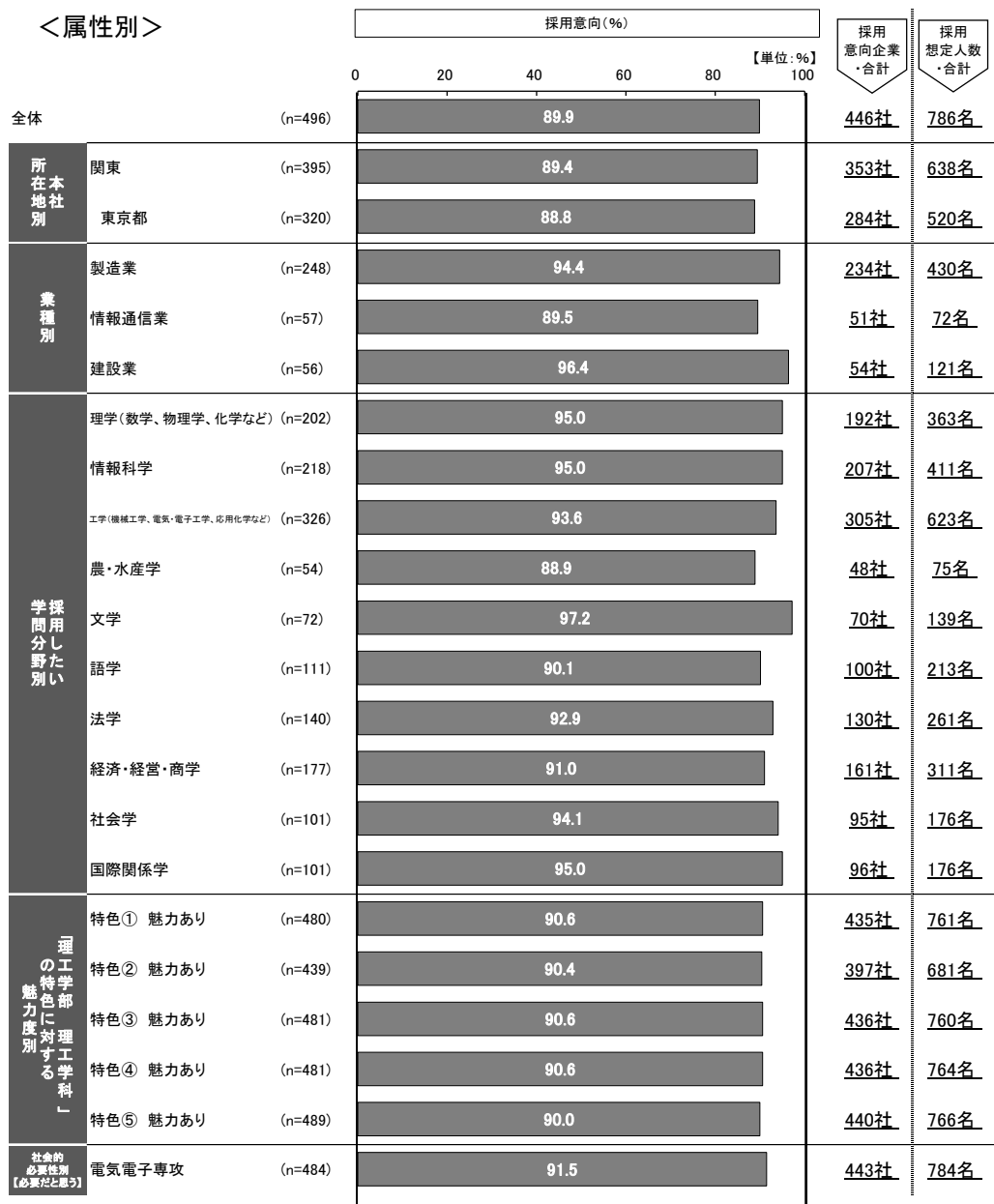
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」
卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※成蹊大学「理工学部 理工学科 電気電子専攻」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



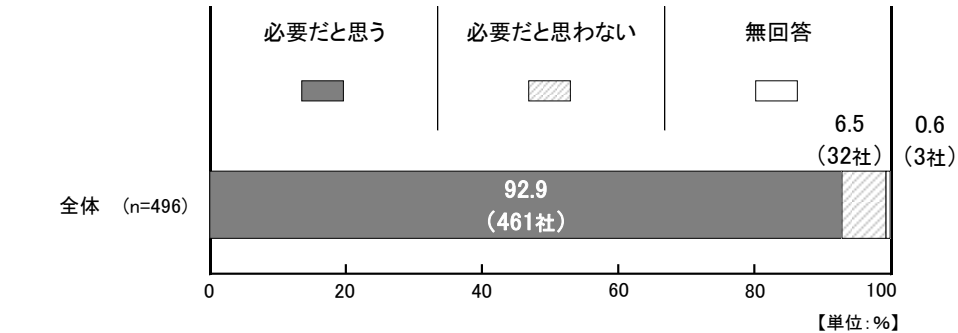
※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」の社会的必要性／卒業生に対する採用意向／卒業生の毎年の採用想定人数

資料8

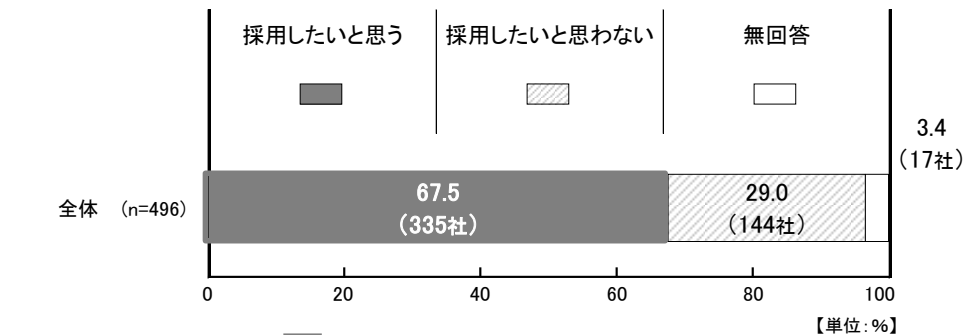
成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」の社会的必要性

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)は、これからの社会にとって必要だと思いますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」卒業生に対する採用意向

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)



「採用したいと思う」と答えた335社のみ抽出

成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」卒業生の毎年の採用想定人数

Q11. Q10でいずれかの専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

標本数	単位	1名							計
		1名	2名	3名	4名	5名	6名	7名以上	
全体	335	%	67.2%	16.4%	5.7%	0.9%	2.1%	0.6%	⇒ 311 459
		企業数	225	55	19	3	7	2	
		名	225	110	57	12	35	20	

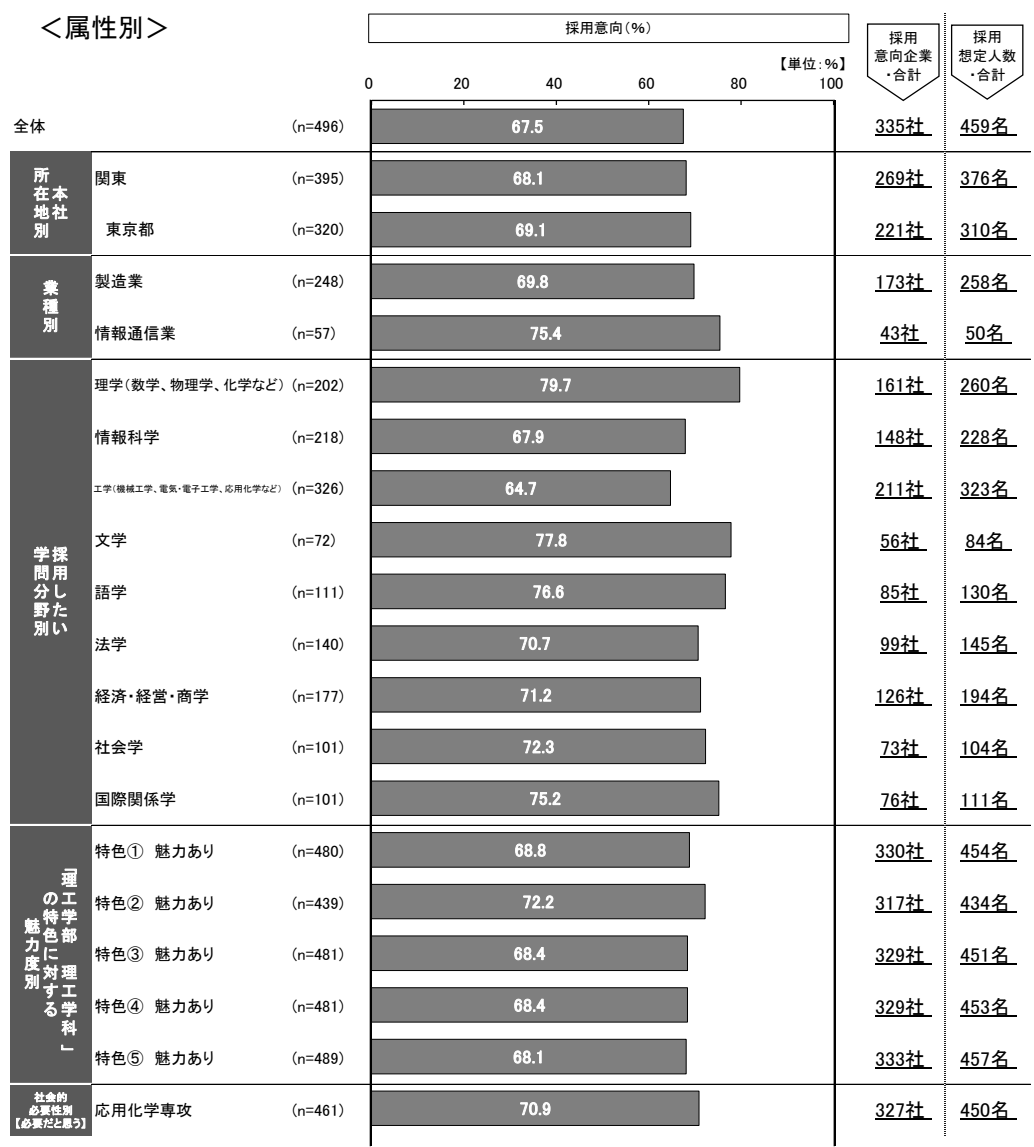
※ 毎年の採用想定人数・計 「5名～9名」=5名、「10名以上」=10名 を代入し合計値を算出

成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」
卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

資料8

■成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」卒業生に対する採用意向／採用想定人数＜属性別＞

※成蹊大学「理工学部 理工学科 応用化学専攻」に対して、Q10で「採用したいと思う」と回答した企業を【採用意向企業】と定義し、さらに【採用意向企業】のうち、Q11で回答した企業が示す具体的な人数を【採用想定人数】と定義する。



※ 採用想定人数・合計 「5名～9名」＝5名、「10名以上」＝10名 を代入し合計値を算出

卷末資料 調査票

成蹊大学「理工学部 理工学科」

<データ数理専攻/コンピュータ科学専攻/機械システム専攻/電気電子専攻/応用化学専攻>

(すべて仮称、設置構想中)に関するアンケート

成蹊大学では2022年(令和4年)4月より、「理工学部 理工学科」<データ数理専攻/コンピュータ科学専攻/機械システム専攻/電気電子専攻/応用化学専攻> (すべて仮称)を設置することを構想しています。このアンケートは採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、より充実した大学や学部・学科にするための参考資料とさせていただきます。このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、ぜひアンケートへのご協力をお願いいたします。

※このアンケートや同封した資料に記載されている「理工学部 理工学科」<データ数理専攻/コンピュータ科学専攻/機械システム専攻/電気電子専攻/応用化学専攻> (すべて仮称、設置構想中)に関する事項はすべて予定であり内容が変更になる可能性があります。

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

Q1. アンケートにお答えいただいている方の、人事採用への関与度をお教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

1. 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
2. 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
3. 採用時には直接かわかわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

Q2. 貴社・貴団体の本社(本部)所在地について、都道府県名をお教えてください。

本社(本部)所在地

都・道・府・県 ←1つに○

Q3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|------------|-------------------|--------------|
| 1. 製造業 | 6. 卸売・小売業 | 11. 医療・福祉 |
| 2. 情報通信業 | 7. 運輸業 | 12. 農・林・漁・鉱業 |
| 3. サービス業 | 8. 建設業 | 13. 飲食店・宿泊業 |
| 4. 複合サービス業 | 9. 不動産業 | 14. 公務 |
| 5. 金融・保険業 | 10. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 15. その他 |

Q4. 貴社・貴団体の従業員数(正規社員)について、ご回答ください。(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|---------------|------------------|--------------------|
| 1. 50名未満 | 3. 100名～500名未満 | 5. 1,000名～5,000名未満 |
| 2. 50名～100名未満 | 4. 500名～1,000名未満 | 6. 5,000名以上 |

Q5. 貴社・貴団体の過去3か年の平均的な正規社員の採用数について、お教えてください。

(あてはまる番号1つに○)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 0名 | 4. 10名～20名未満 | 7. 50名～100名未満 |
| 2. 1名～5名未満 | 5. 20名～30名未満 | 8. 100名以上 |
| 3. 5名～10名未満 | 6. 30名～50名未満 | |

Q6. 貴社・貴団体の本年度の採用予定数は、昨年度と比較していかがですか。(あてはまる番号1つに○)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 増やす | 3. 減らす |
| 2. 昨年度並み | 4. 未定 |

Q7. 貴社・貴団体では、今後、大学でどのような学問分野を学んだ人物を採用したいとお考えですか。

(あてはまる番号すべてに○)

- | | | |
|----------------------------|--------------|---------------------|
| 1. 理学(数学、物理学、化学など) | 7. 文学 | 13. 教員養成・教育学 |
| 2. 情報科学 | 8. 語学 | 14. 生活科学 |
| 3. 工学(機械工学、電気・電子工学、応用化学など) | 9. 法学 | 15. 芸術学 |
| 4. 農・水産学 | 10. 経済・経営・商学 | 16. 総合科学 |
| 5. 看護・保健学 | 11. 社会学 | 17. 学んだ学問分野にはこだわらない |
| 6. 医・歯・薬学 | 12. 国際関係学 | |

裏面へ続く→

成蹊大学では、2022年(令和4年)4月に、新しく「理工学部 理工学科」
＜データ数理専攻/コンピュータ科学専攻/機械システム専攻/電気電子専攻/応用化学専攻＞
(すべて仮称)を設置することを構想しています。
※ ここからは、アンケートに同封している資料をご覧いただいた上でお答えください ※

Q8. 成蹊大学「理工学部 理工学科」(仮称、設置構想中)には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体(ご回答者)にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		とても 魅力を感じ	ある程度 魅力を感じ	あまり 魅力を感じない	まったく 魅力を感じない
特色 ①	1学科の中に5つの専攻(データ数理、コンピュータ科学、機械システム、電気電子、応用化学)を設置。所属専攻以外の科目も履修でき、融合分野も学べます。	→ 1	2	3	4
特色 ②	意識の高い学生に向けて、時代のニーズを捉えた専攻融合型の「特別プログラム」を設置。「生命科学プログラム」「経営科学プログラム」「教育手法プログラム」を構想しています。	→ 1	2	3	4
特色 ③	「連携プロジェクト」科目では、専攻間の垣根を越えて学生同士が協働し、企業や地域における課題をチームで解決するための実践力を磨きます。	→ 1	2	3	4
特色 ④	すべての専攻で確かなICT活用力を身につけます。各専攻の専門知識とICTを高度に駆使して、実社会における課題を解決できる力を養います。	→ 1	2	3	4
特色 ⑤	数学・物理・化学・生物といった理工学の基礎力だけでなく、読解力、文章作成力、プレゼンテーションスキル、コミュニケーション力といった社会人基礎力も鍛えます。	→ 1	2	3	4

Q9. 貴社・貴団体(ご回答者)は、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)は、
これからの社会にとって必要だと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		1.必要だと思う	2.必要だと思わない
理工学部 理工学科	データ数理専攻	→ 1	2
	コンピュータ科学専攻	→ 1	2
	機械システム専攻	→ 1	2
	電気電子専攻	→ 1	2
	応用化学専攻	→ 1	2

Q10. 貴社・貴団体(ご回答者)では、成蹊大学「理工学部 理工学科」の各専攻(すべて仮称、設置構想中)
を卒業した学生について、採用したいと思われますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		1.採用したいと思う	2.採用したいと思わない
理工学部 理工学科	データ数理専攻	→ 1	2
	コンピュータ科学専攻	→ 1	2
	機械システム専攻	→ 1	2
	電気電子専攻	→ 1	2
	応用化学専攻	→ 1	2

Q11. Q10でいずれかの専攻の卒業生を「1. 採用したいと思う」と回答された方におたずねします。
「1. 採用したいと思う」と回答された専攻を卒業した学生について、採用を考える場合、
毎年何名程度の採用を想定されますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

		1名	2名	3名	4名	5名 ～9名	10名 以上
理工学部 理工学科	データ数理専攻	→ 1	2	3	4	5	6
	コンピュータ科学専攻	→ 1	2	3	4	5	6
	機械システム専攻	→ 1	2	3	4	5	6
	電気電子専攻	→ 1	2	3	4	5	6
	応用化学専攻	→ 1	2	3	4	5	6

～質問は以上です。ご協力ありがとうございました。～

《各専攻について》 ※各専攻はすべて仮称、設置構想中です。

- ◆データ数理専攻/ 現実問題のよい数理モデル化を考えるモデリング手法、数理モデル化した問題を解くアルゴリズムや最適化手法、様々なデータを分析して利用する手法を基礎から応用まで学びます。
- ◆コンピュータ科学専攻/ PC・サーバ・IoT・スマホなどのコンピュータを扱うためのソフトウェア技術を身につけるとともに、画像・映像・音声・テキスト・対話を処理するためのAIを駆使したメディア技術を学びます。
- ◆機械システム専攻/ 強度と耐久性、環境や快適さなどを考慮した機械システムの技術と、人・モノ・お金・情報等が関わるシステムをより良く機能させる方法について学びます。
- ◆電気電子専攻/ 電気電子・機械制御・情報処理を有機的に網羅した充実のカリキュラムにより、社会へ必要とされる基礎を支える理論と実践を学びます。
- ◆応用化学専攻/ 健康・医療を核(コア)インノベーションと、持続可能な社会を核(グリーン)インノベーションに貢献する人材育成を見据え、ITを活用した化学の学際探究と社会への応用を学びます。

88